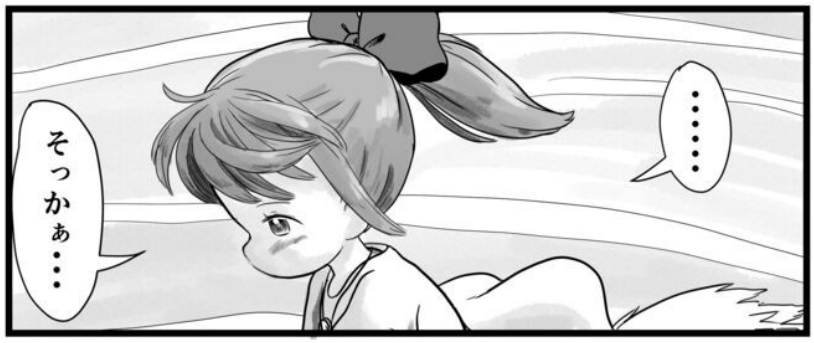
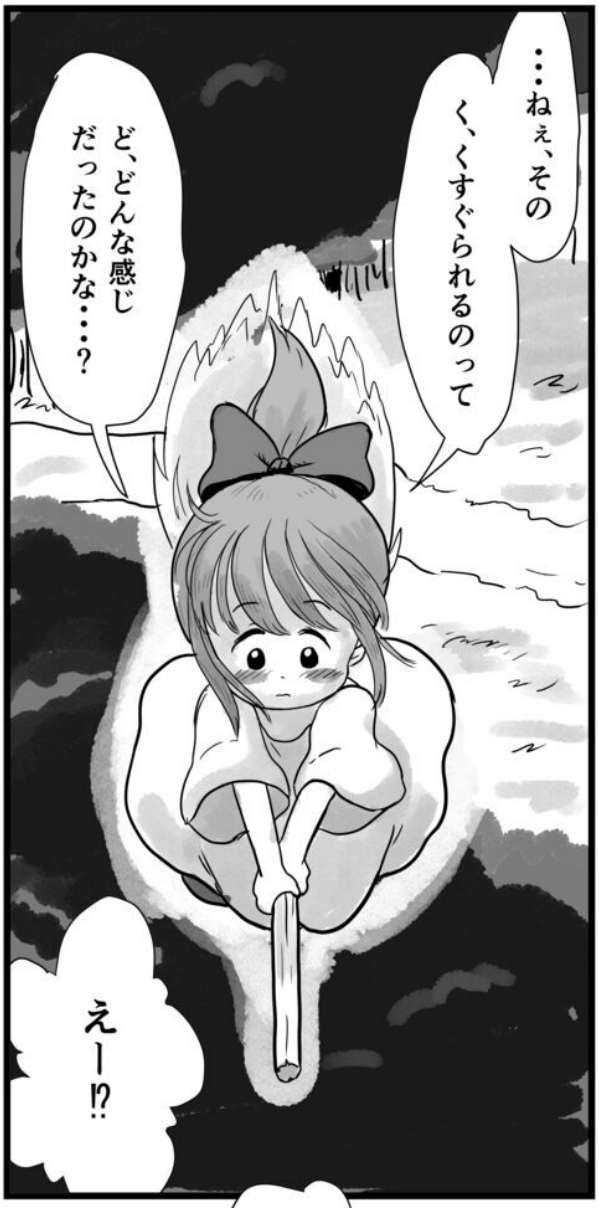

魔法少女が
くすぐられる本
2
コチョコチョ
あはっ
あはははは！


魔法少女が
くすぐられる木
ンフィ
ナツミ
ももか

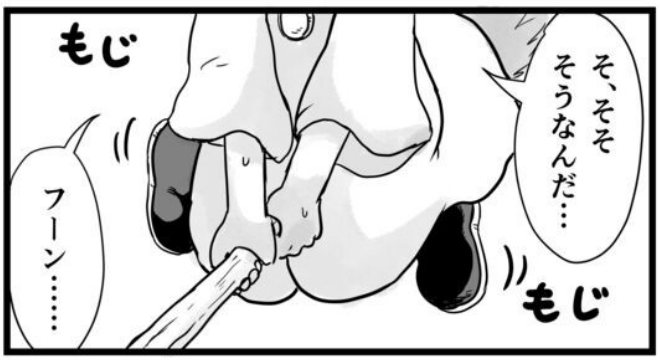

魔法学校
カラーン
コローン
放課後―
えー!?
えーじゃ、じゃあ
魔法で本の中から
出られなくなって…
そのまま逃げられずに
くすぐられ
続けちゃったの!?
そう!
大変だったん
だから!
何とか出てこれたけど、
あの時はホントに
死ぬかと思ったよ!
ヒュウゥ…
うわわ……
ね、ねえ…
その本って…ま、
まだあるのかな…
ううん、
あんな危険な本
それからすぐに
燃やしちゃったよ!
父の書いた本が




……
そっかぁ…

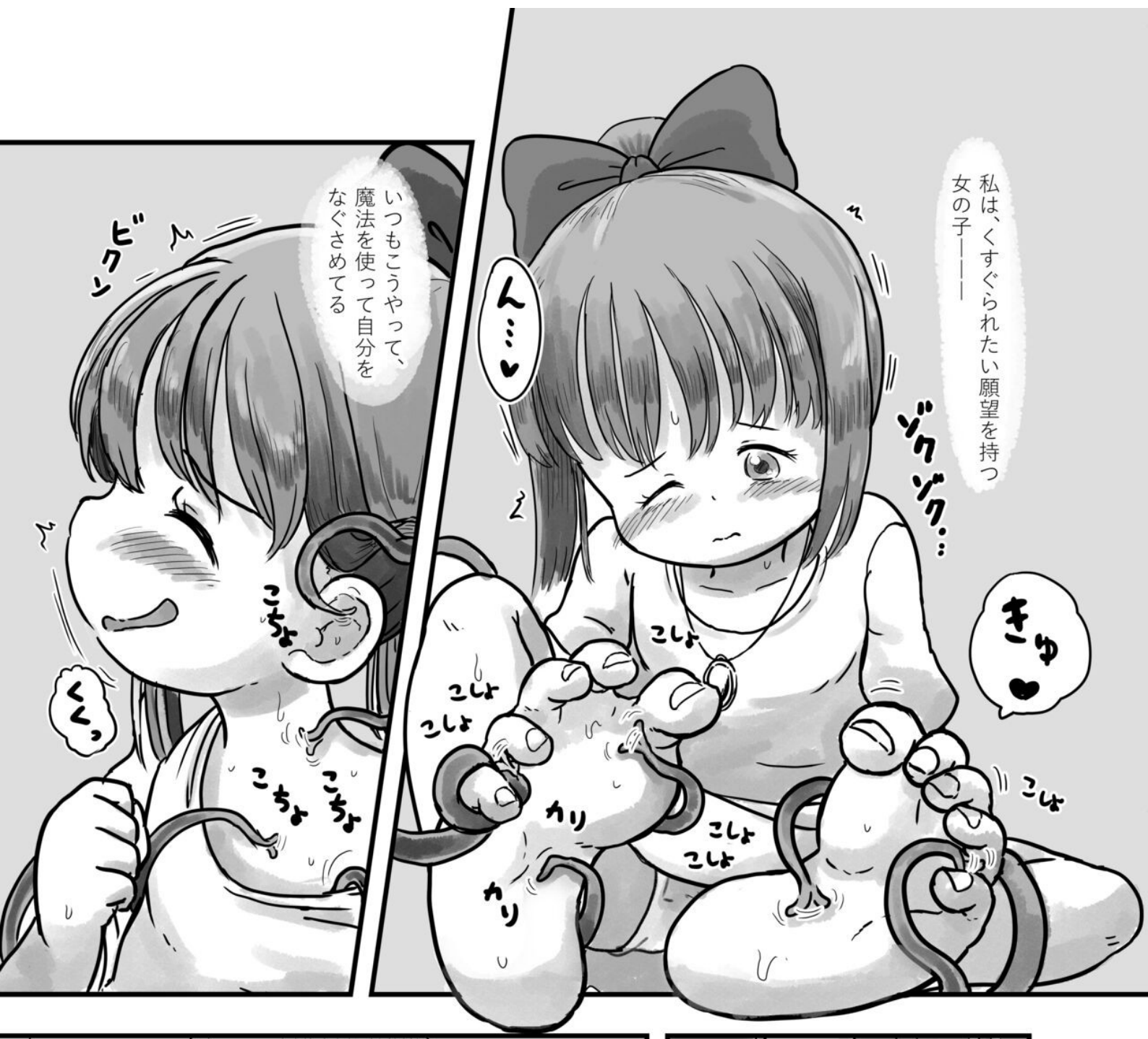

…ねぇ、その
く、くすぐられるのって
ど、どんな感じ
だったのかな…？
えー!?


そりゃもう、
苦しいの
なんのって
どれだけ暴れても、
泣いてもくすぐりを
止めてくれないし
力尽きて動けなくなっても、
回復魔法をかけられて
またくすぐられてさー
ねー！
ワキの下をほじくるように…
ワキバラをもみほぐす
土踏まずを爪をたてカリカリ～
足の指の間までていねいに…
二度とされたくなり…
頭がま白になるよね
笑うとるうちはまだ序の口
笑う気力もなくなって、けいれんすっ


もじ
もじ
そ、そそ
そうなんだ…
フーン……

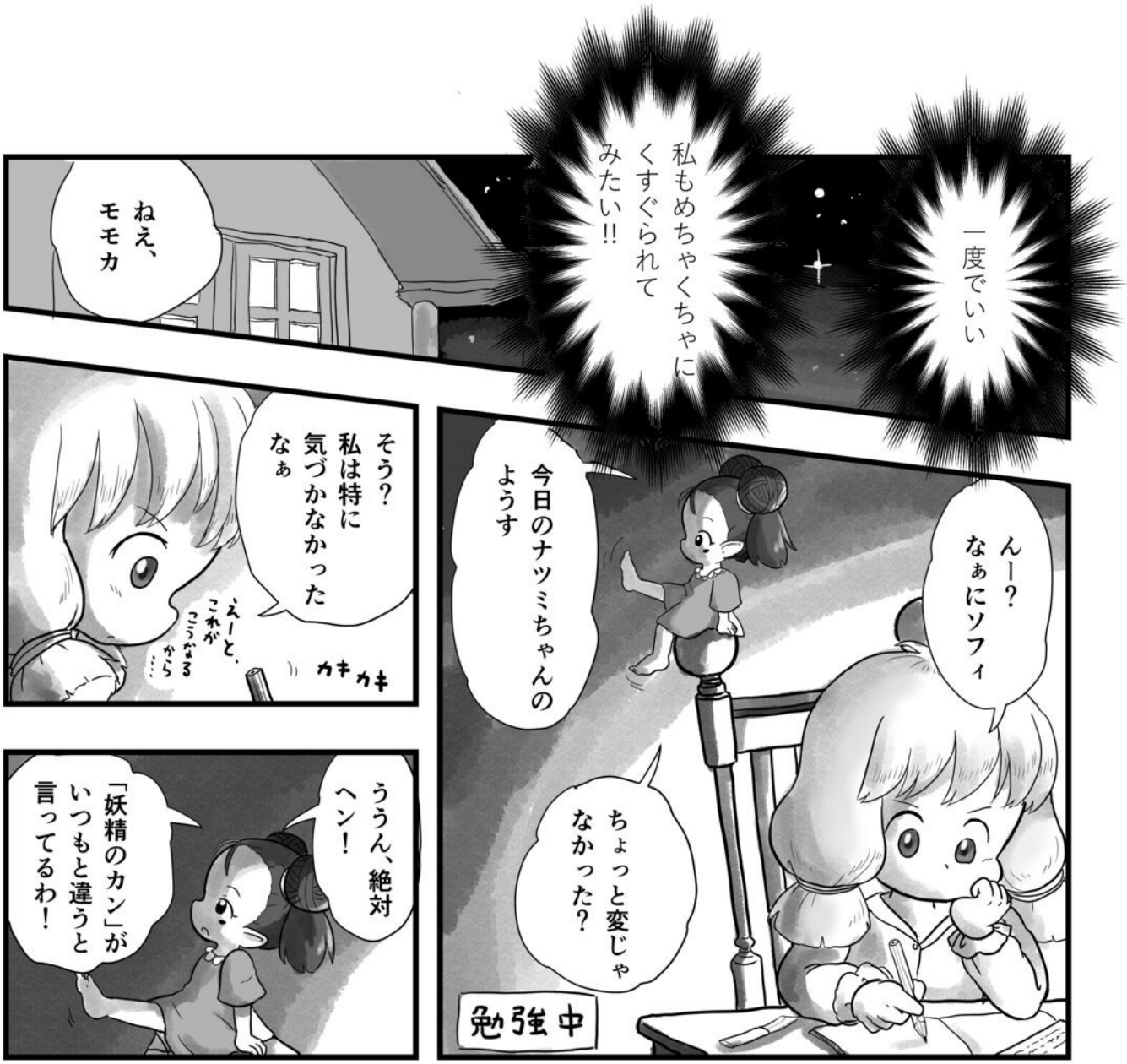

それじゃあ
また明日！
私のお家
で遊ぼうね！
バイバイ
ナツミちゃん！
うん
バイバイ
モモカちゃん


ぬぎ
ぬぎ
フゥ…
バタン
モモカちゃんは
私の一番の友達
でも――
そんな
モモカちゃん
にも言えない
秘密がある
ポウ…
緑と大地の
精霊よ
我の意思に
従い動き
たまえ―
シュル
シュル…
んっ……
こしょ
こしょ
こしょ

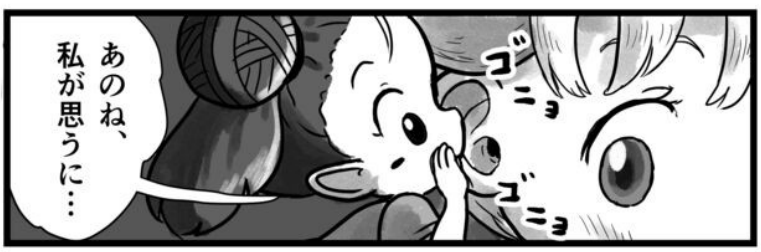

私は、くすぐられたい願望を持つ女の子――
ゾクゾク…
ん…♥
きゅ♥
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
カリ
カリ
いつもこうやって、魔法を使って自分をなぐさめてる
ビクン
こちょ
こちょ
こちょ
くくっ


でも――
スー…
ビクッ
もぞ…
もぞ…

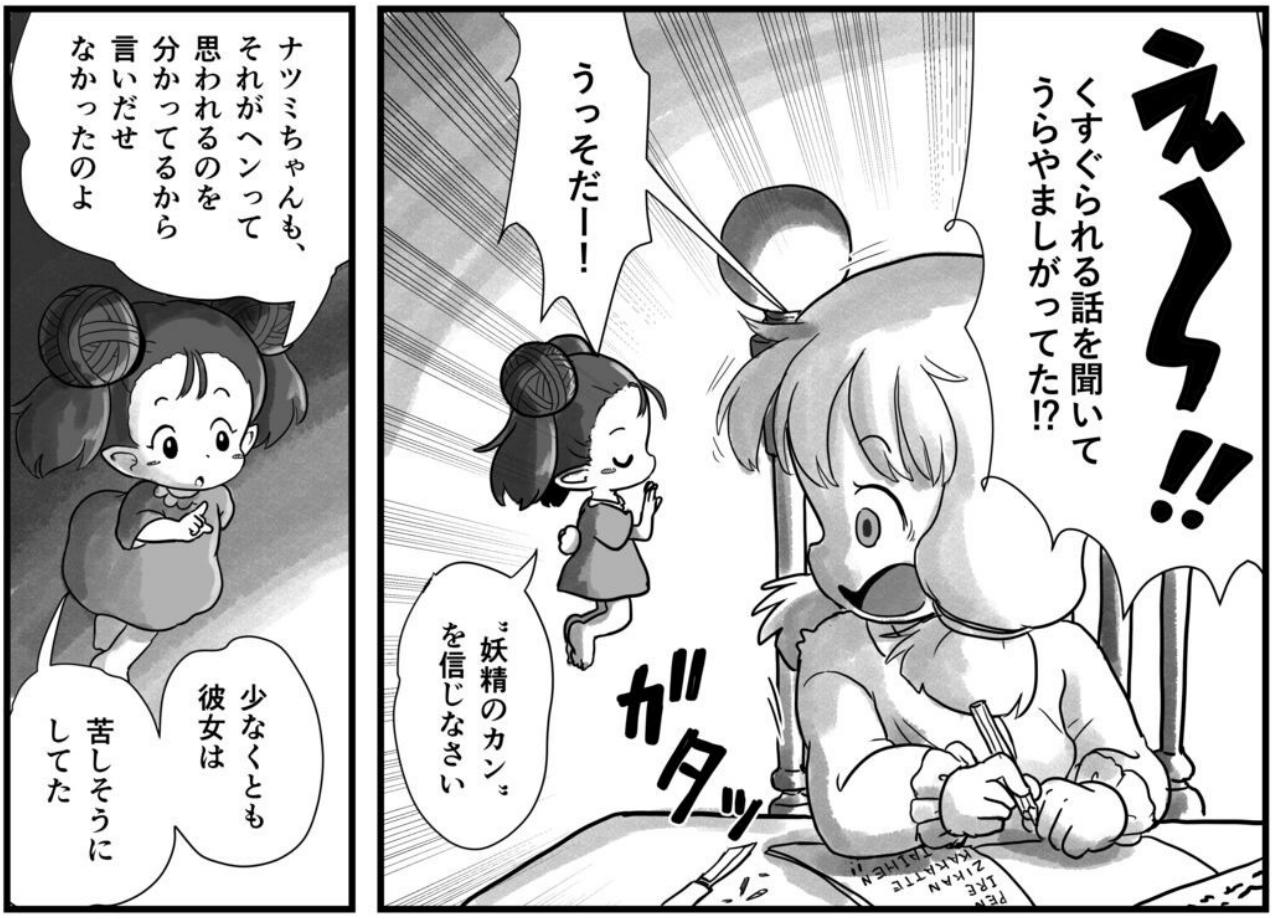

ああっもう!!
あんな話を聞いた後だと
全然刺激が足りないわ!!
ガバ

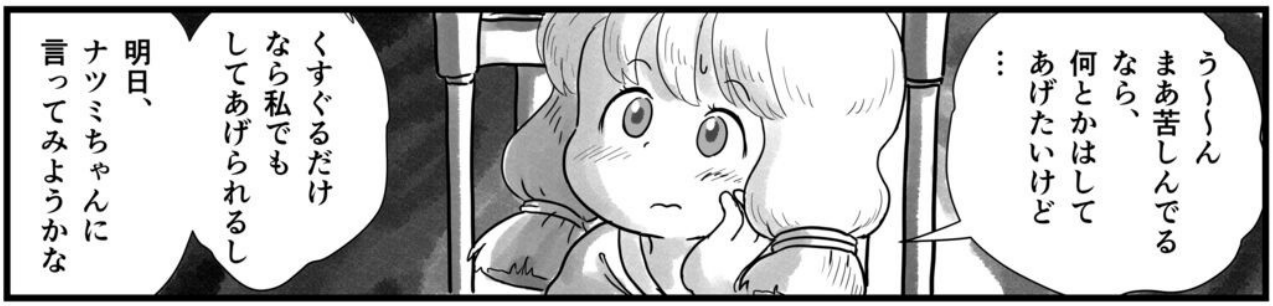

一度でいい
私もめちゃくちゃにくすぐられてみたい!!
ねえ、モモカ
んー?なぁにソフィ
今日のナツミちゃんのようす
ちょっと変じゃなかった?
勉強中
そう?私は特に気づかなかったなぁ
えーと、これがこうなるから…
カキカキ
ううん、絶対ヘン!
「妖精のカン」がいつもと違うと言ってるわ!


豆知識
「妖精族」のソフィは人の微妙な変化から心理状態を読む事に長けているぞ!
小さいからここの長所!


あのね、私が思うに…
ゴニョ
ゴニョ


う〜ん…ソフィが言うならそうなんだろうけど…
いったい何がヘンだったの?


えぇ!!
くすぐられる話を聞いて
うらやましがってた!?
うっそだー!
ガタッ
〝妖精のカン〟を信じなさい
ナツミちゃんも、
それがヘンって
思われるのを
分かってるから
言いだせ
なかったのよ
少なくとも
彼女は
苦しそうに
してた


う〜ん
まあ苦しんでる
なら、
何とかはして
あげたいけど
…
くすぐるだけ
なら私でも
してあげられるし
明日、
ナツミちゃんに
言ってみようかな


だめよ!
恥ずかしくて
秘密にしてるのに
こっちから言ったら
彼女を傷つけて
しまうわ!
えー、
じゃあ
どうすれば
…


そうだ!


いい事思いついた!
こうしちゃ
いられないわ!
モモカ、
宿題はいいの?
そんなの
やってる
場合じゃない
わ!!

チュン
チュン

ずーーーん

モモカの
はじめて
物語♡

モモカちゃん
どうしたの⁉
なんだか
元気が
ないみたい

へ…へへ

ちょいと
徹夜
しちゃい
ましてねぇ

それよりさ！
ナツミちゃんに
お願いが
あるんだけど

モモカの
はじめて
物語♡

私の魔法のことは
知ってるよね？

ええ…と
魔法には誰でも覚えられる
「一般魔法」と

竜に
ヘンシン！

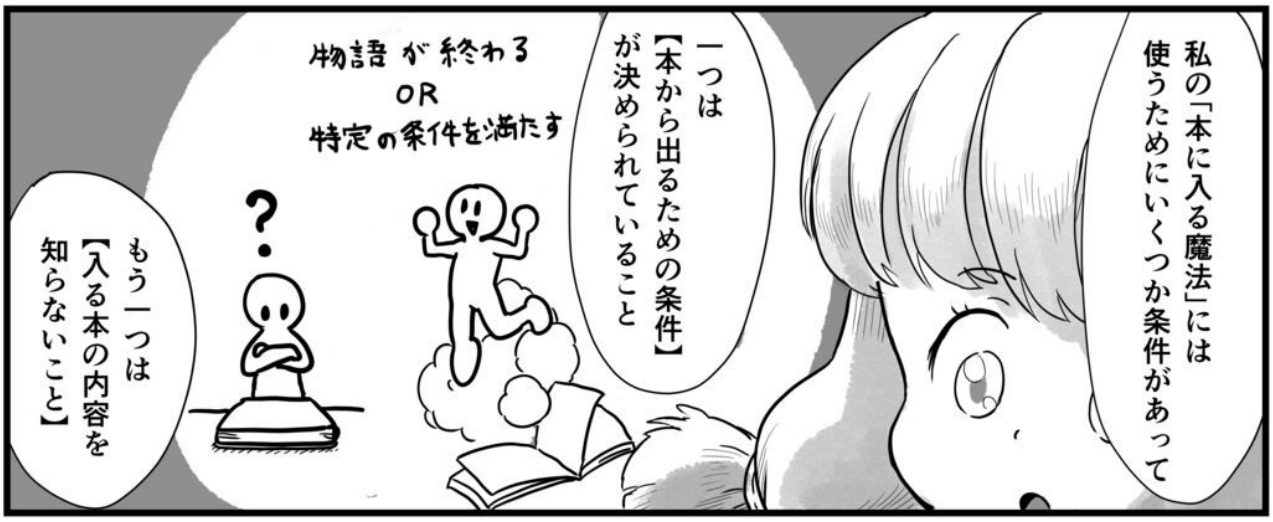
ファイヤー!!

学校で
習った

血筋を持つ人にしか
使えない
「血統魔法」が
あるんだよね

モモカちゃんの
「血統魔法」は
〝本の中に入る魔法〟
…でいいんだよね？

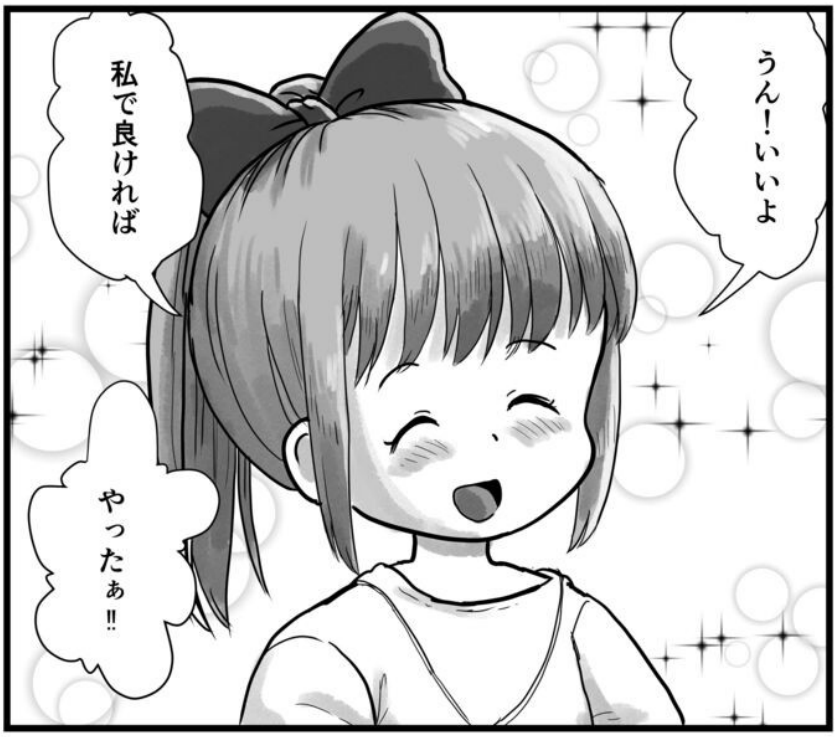
そうそう！


私の「本に入る魔法」には
使うためにいくつか条件があって
一つは
【本から出るための条件】
が決められていること
物語が終わる
OR
特定の条件を満たす
?
もう一つは
【入る本の内容を
知らないこと】

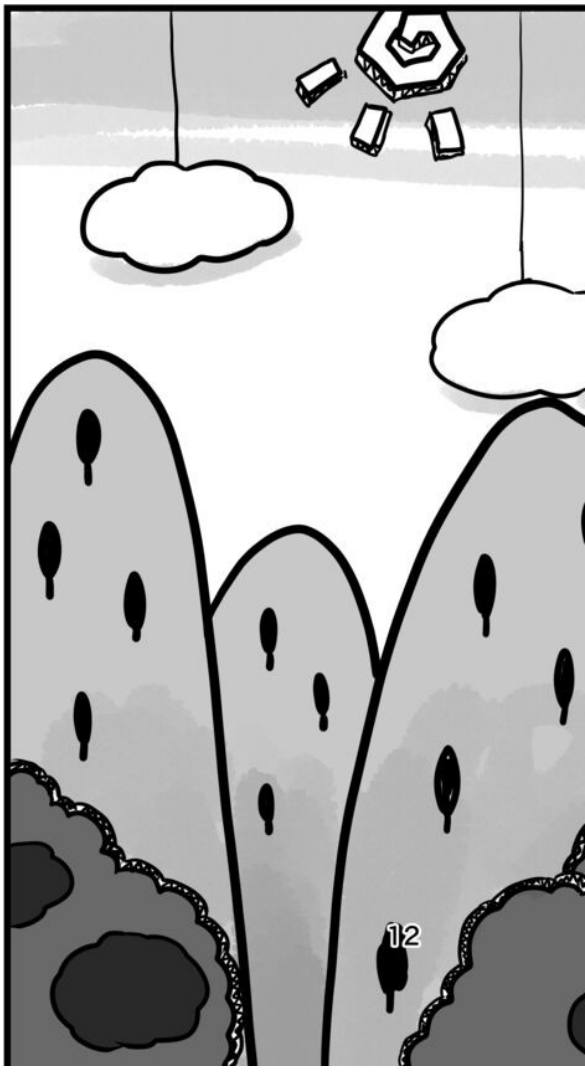

二つ目の条件があるから、
自分で書いた本に
自分で入ることは
できない…
でも、自分で作った本を
誰かが入って冒険して
くれるのって素敵じゃない？
フムフム

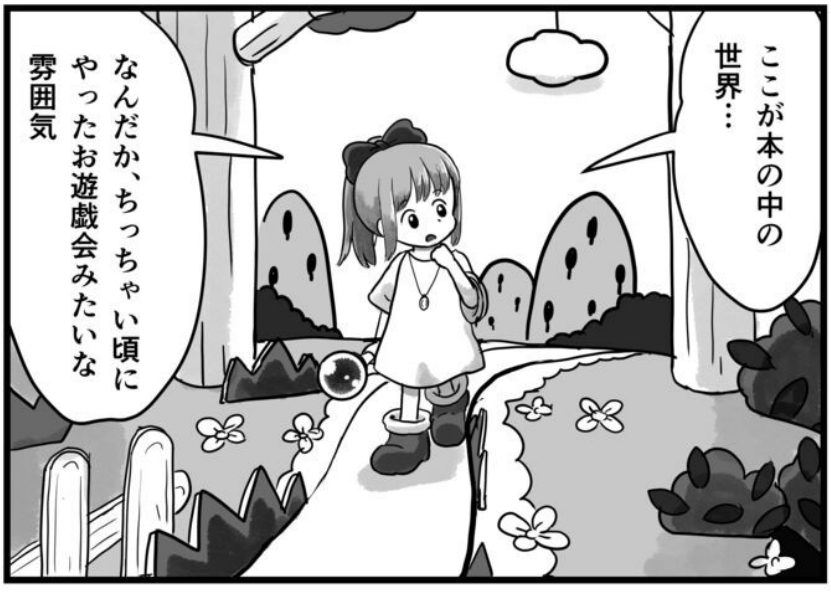

…で、モモカちゃんが
作った本に、私が
入って欲しい…と
あったりー♪


初めて作った本だから、
うまくできてないかも…
ちょっと恥ずかしいけど
初めては
ナツミちゃんが
いいんだ
もじ…

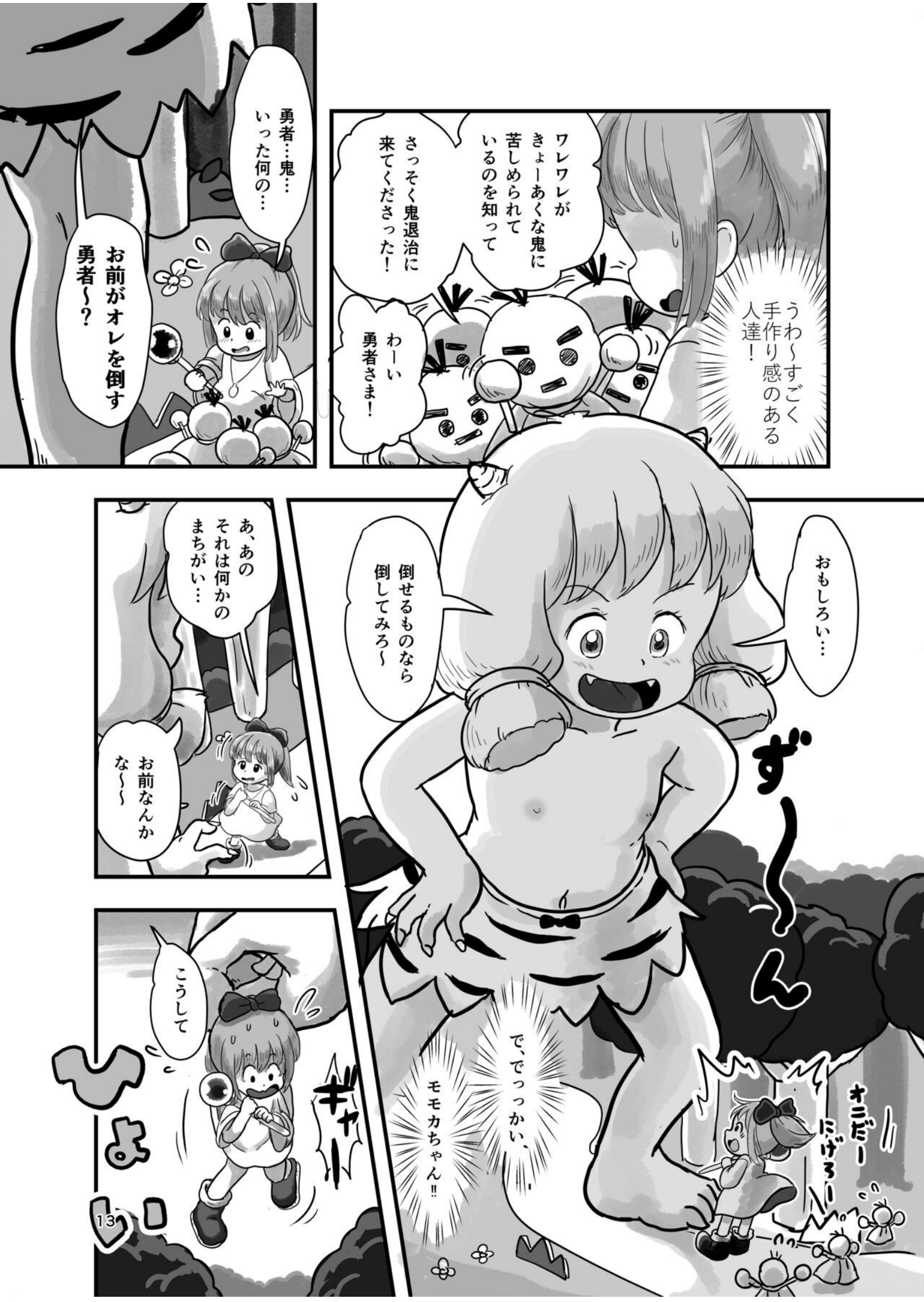

うん！いいよ
私で良ければ
やったぁ!!

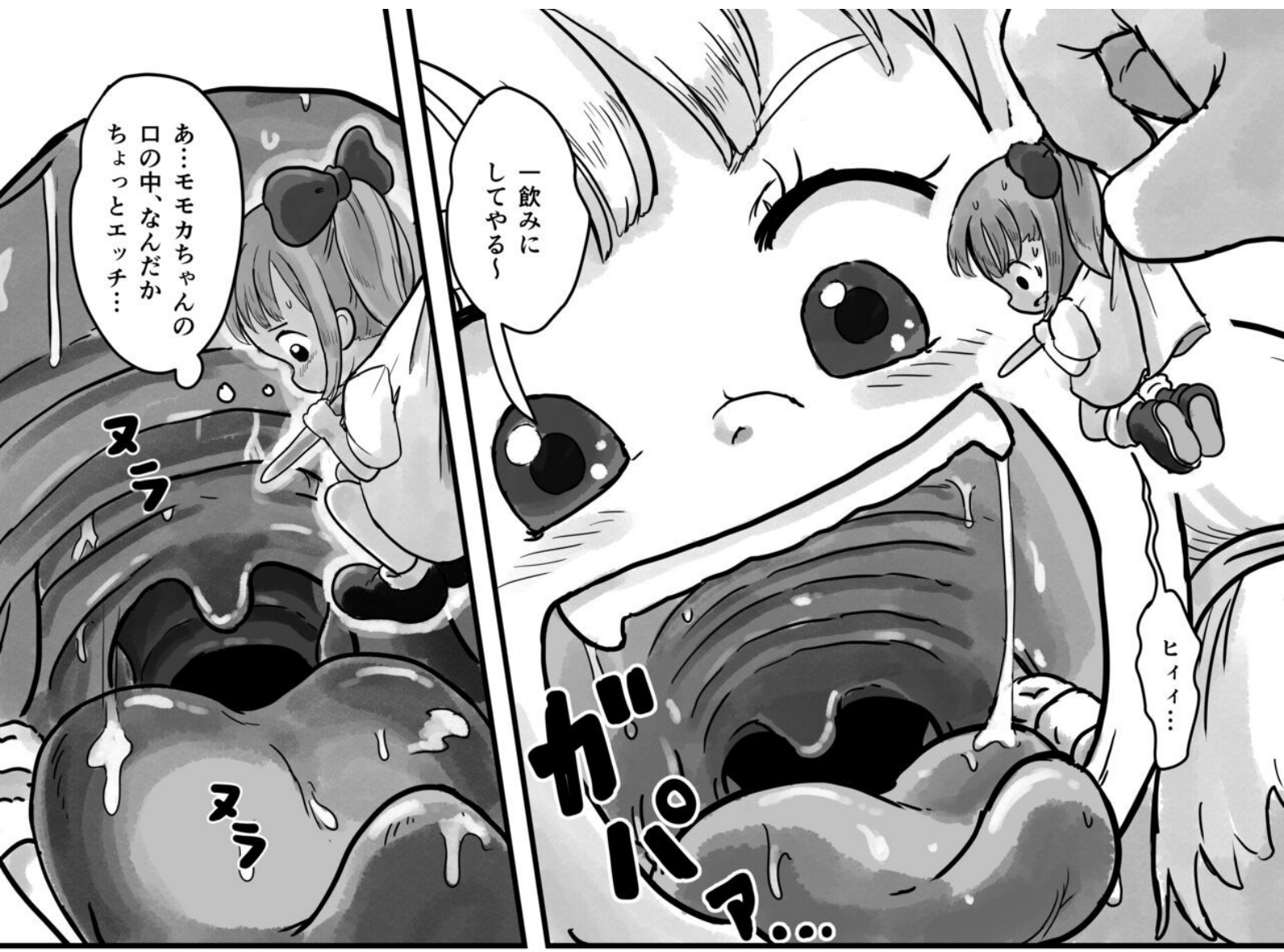

—ってかんたんに言っちゃったけど
知識と空想の精霊よ—
本の世界に入るなんてドキドキ
かの者を遠き世界へいざないたまえ—
モモカちゃんが作った初めての物語
いったいどんな世界なんだろう
何が起こるんだろう




ここが本の中の世界…
なんだか、ちっちゃい頃にやったお遊戯会みたいな雰囲気

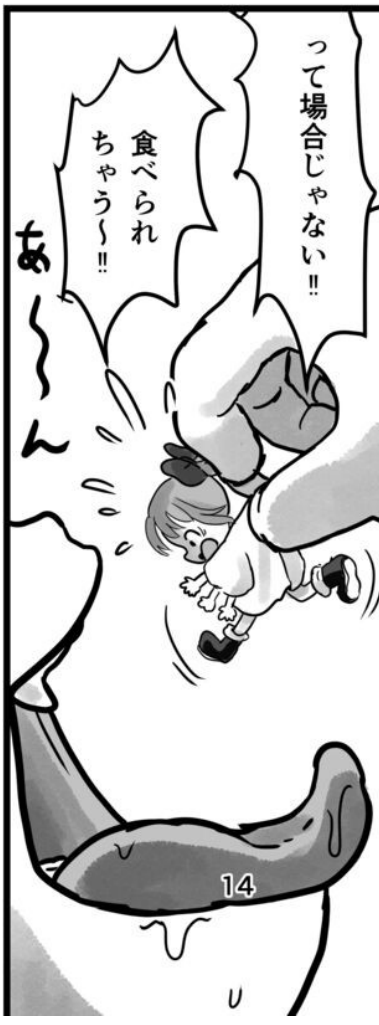

ワッ
おおっ勇者さま！
やっぱり我々を助けに来てくださったのですね！


うわ～すごく手作り感のある人達！
ワレワレがきょーあくな鬼に苦しめられているのを知ってさっそく鬼退治に来てくださった！
わーい勇者さま！
勇者…鬼…いった何の…
お前がオレを倒す勇者～？
おもしろい…
倒せるものなら倒してみろ～
ずーん
で、でっっかい、モモカちゃん!!
オニだー
にげろー
あ、あのそれは何かのまちがい…
お前なんかな～～
こうして
ギャー
ひよい
13


ヒィィ…
ガパァ…
一飲みにしてやる～
あ…モモカちゃんの口の中、なんだかちょっとエッチ…
ヌラ
ヌラ

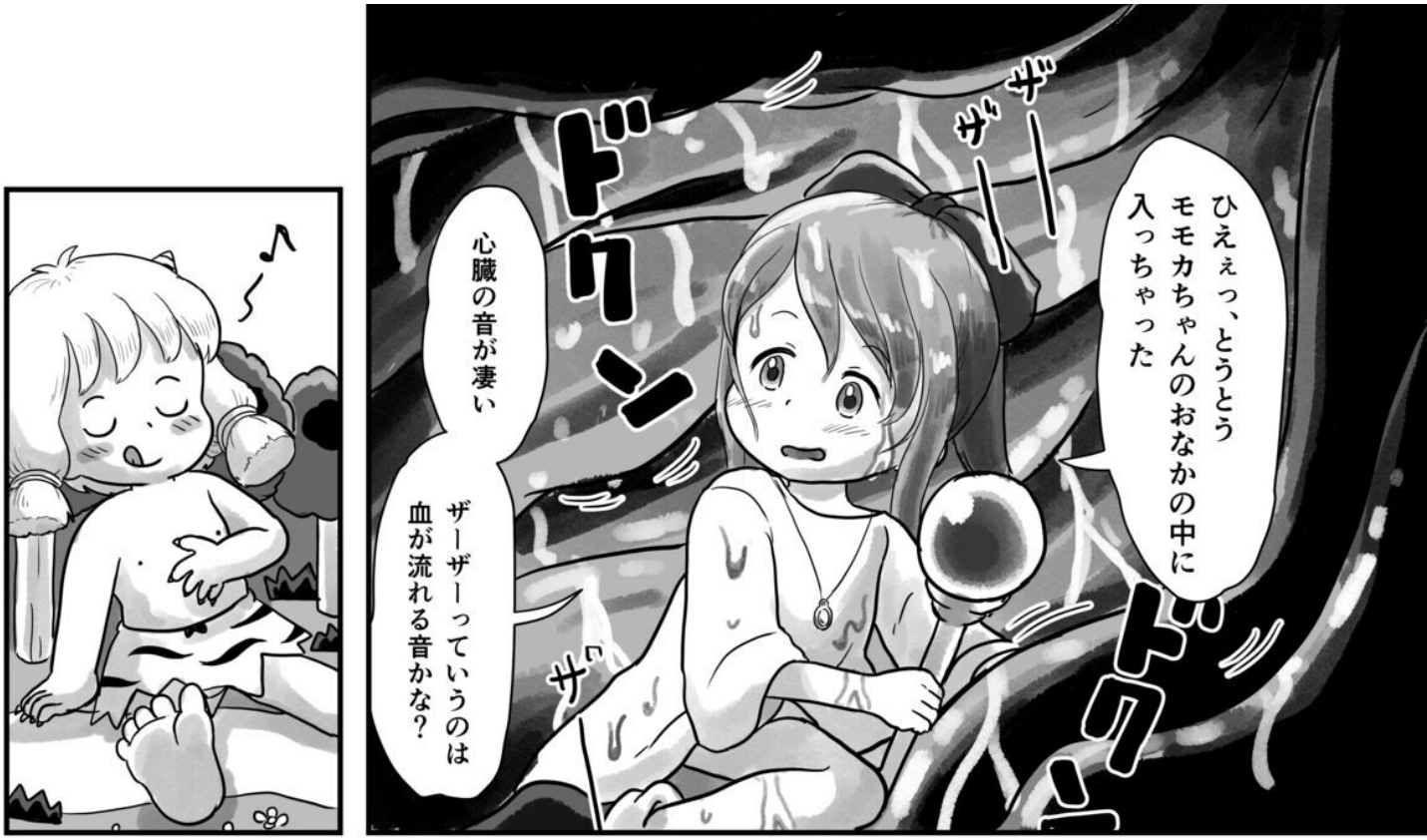

もごもご


パッ
パクン

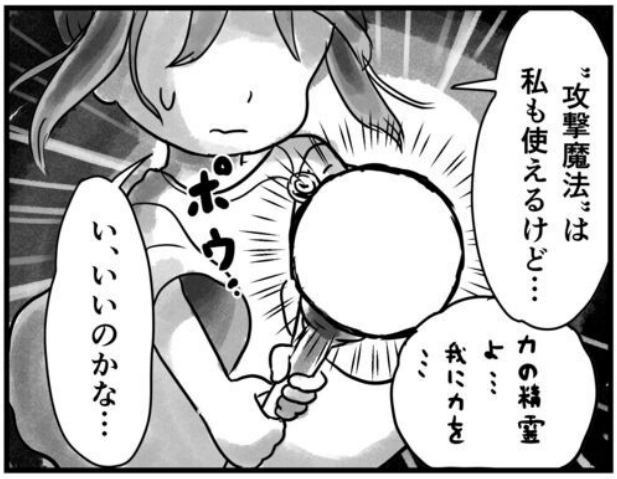

って場合じゃない!!
食べられちゃう～!!
あ～ん


ひえぇっ私、モモカちゃんに味あわれてる
グニュル…
よだれでぐっしょりわ、わたしってお、おいしいのかな…
クチュ…

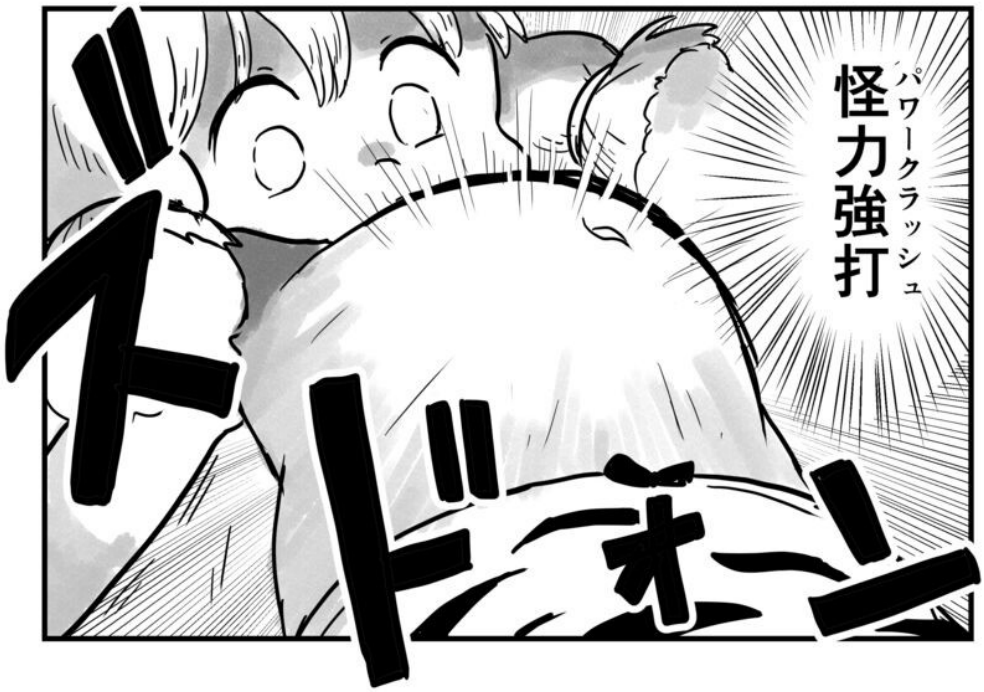

ダメー!!
グニュ
グニー
ホントに
食べれれちゃう!!
あ……
だ、だんだん
奥の方に……
ズル…
ズル…
うう〜ん
ゴッ
クーン
あ!
わぁ〜〜
ニュル…
ベチャ

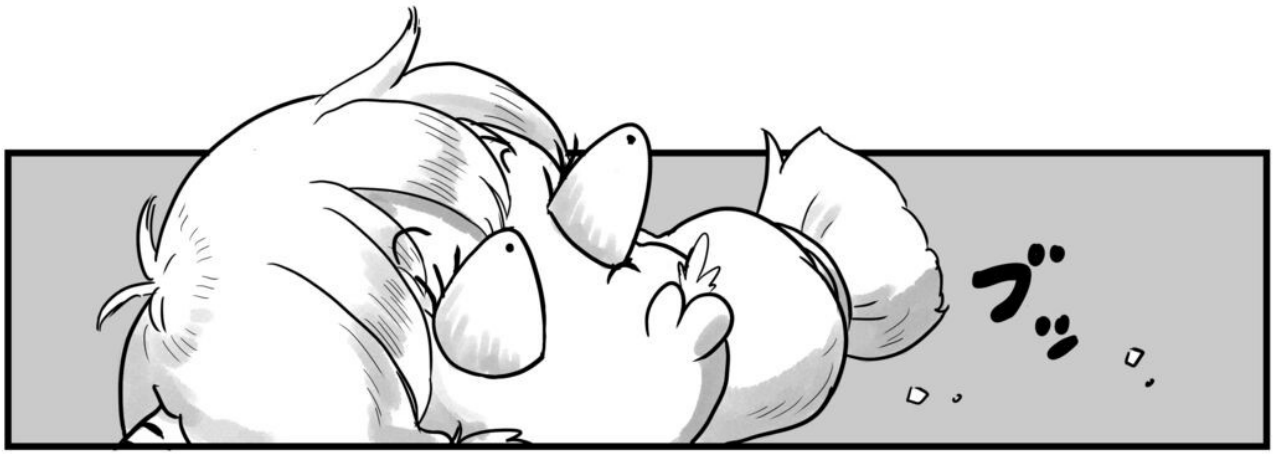

ひえぇっ、とうとう
モモカちゃんのおなかの中に
入っちゃった
ザー
ザー
ドクン
ドクン
心臓の音が凄い
ザーザーっていうのは
血が流れる音かな？


あ、でもこれって
似たような昔ばなしを
読んだことある
鬼に食べられた主人公が
おなかの中から鬼を
攻撃して退治するん
だよね


〝攻撃魔法〟は
私も使えるけど…
力の精霊よ…
我に力を…
ポウ…
い、いいのかな…

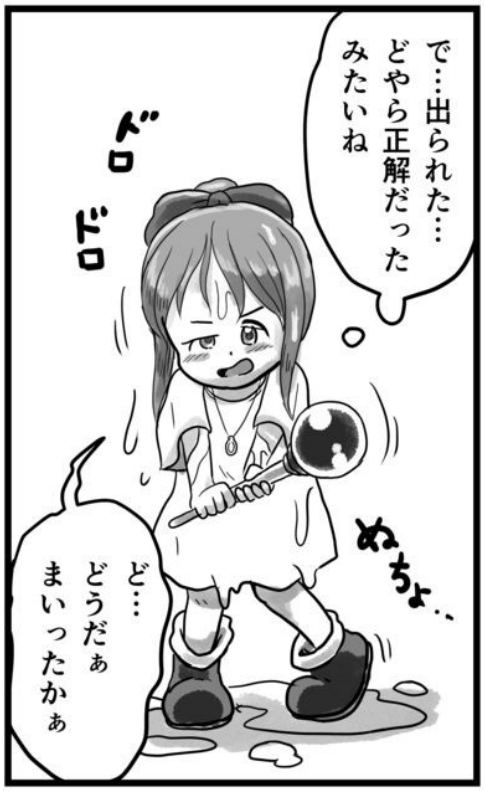

このまま○こに
なるよりまし！
ズーン
せーのっ！


怪力強打
パワークラッシュ
ズドーン

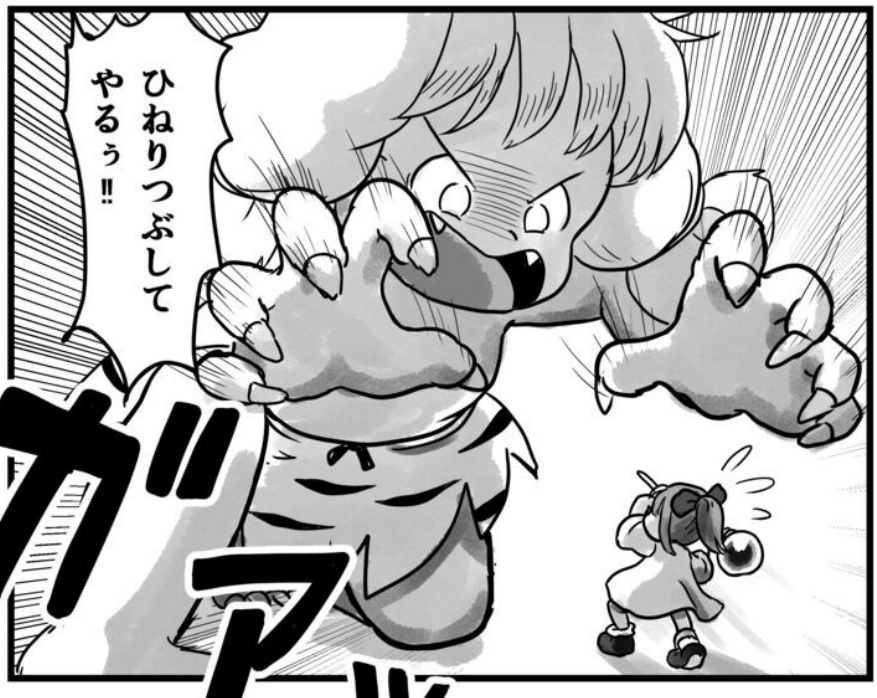

ブッ


うっ
おげ〜〜っ

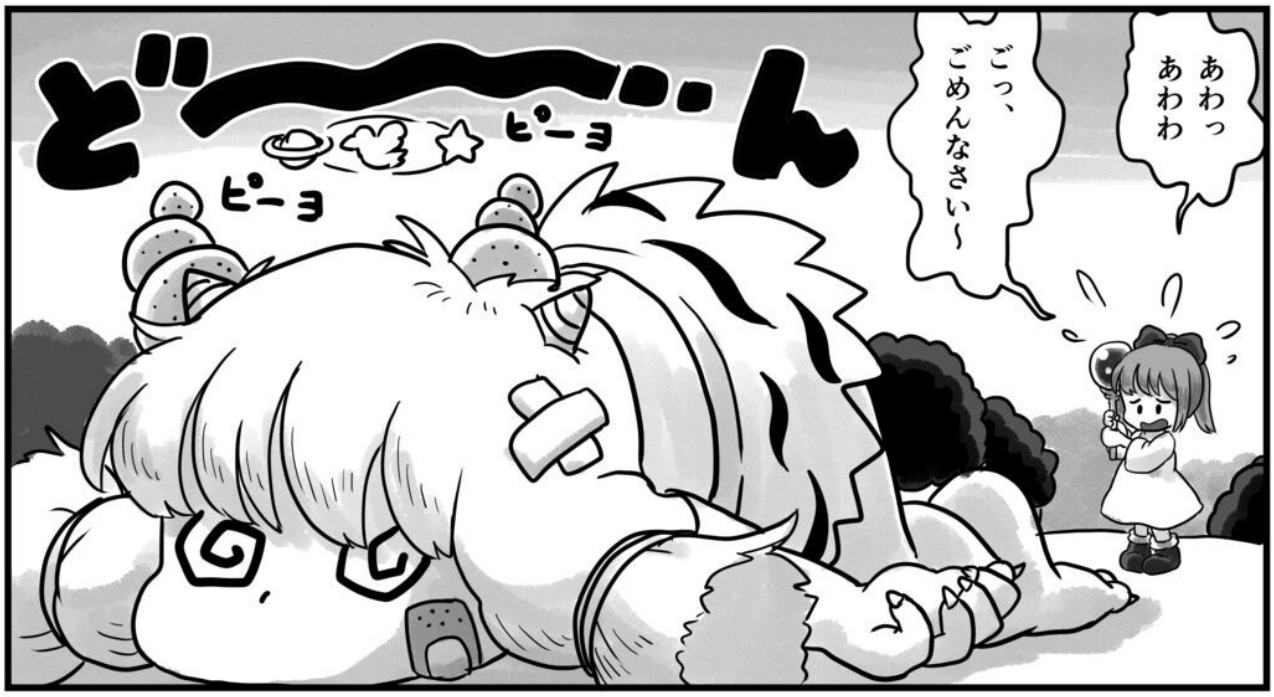

カァッ
べちゃん

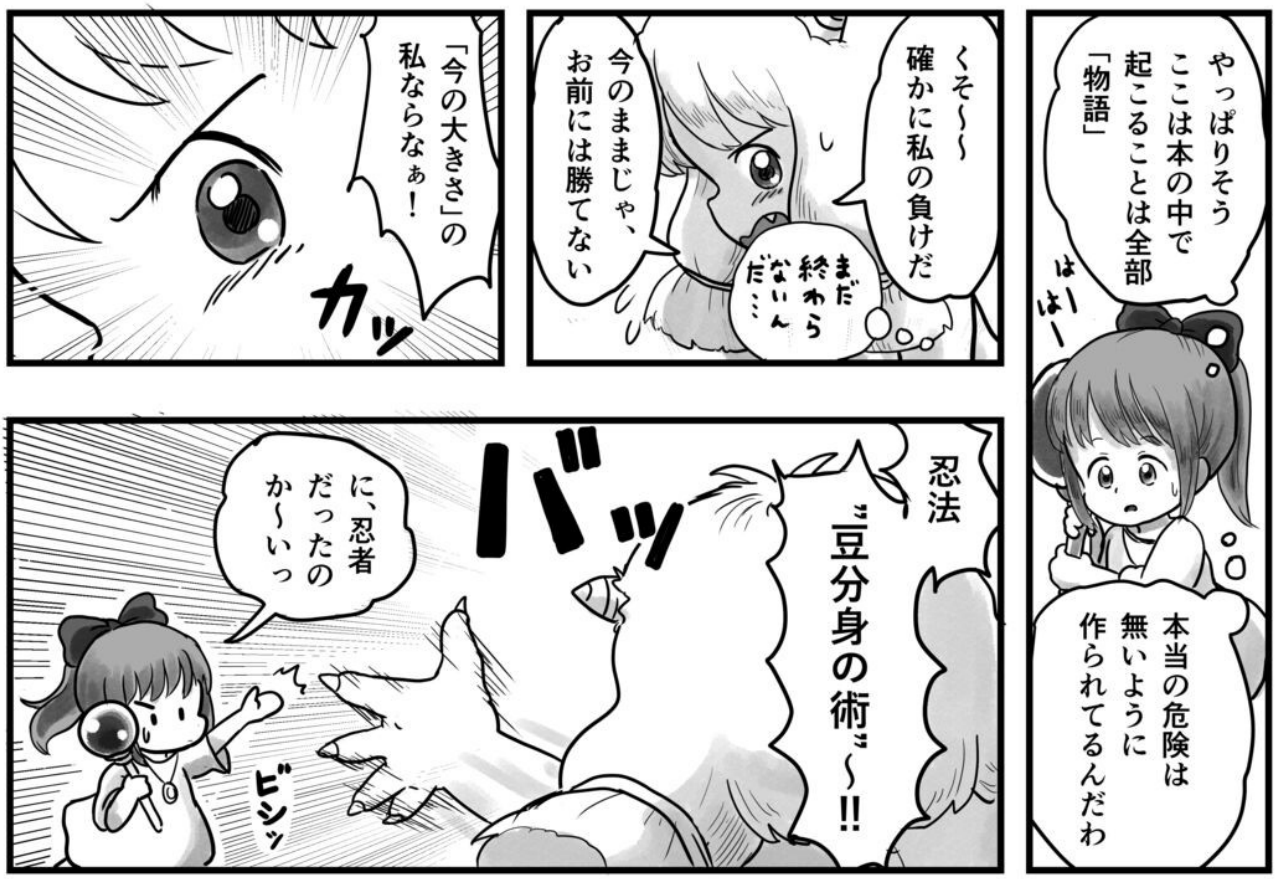

で…出られた…
どやら正解だった
みたいね
ドロ
ドロ
ぬちょ…
ど…
どうだぁ
まいったかぁ

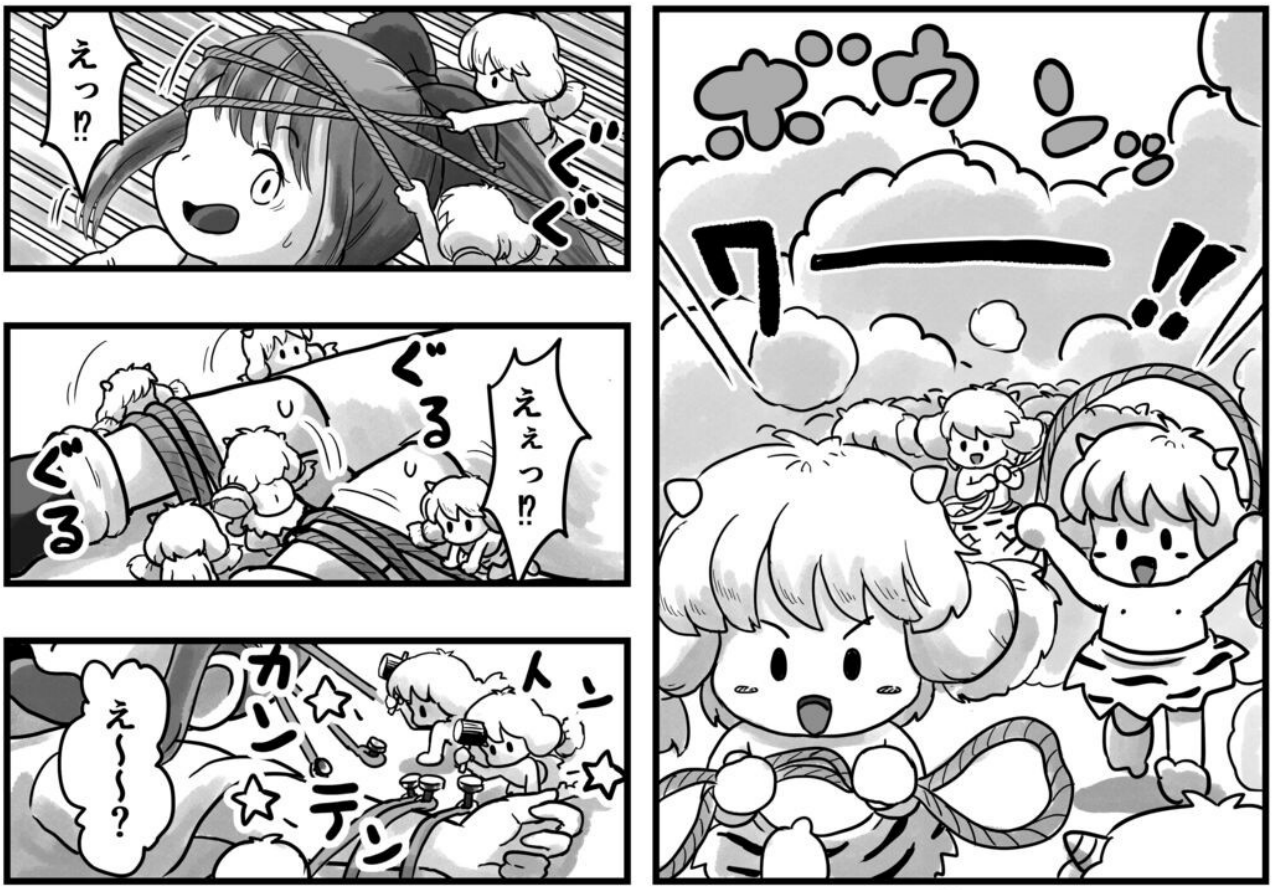

くぉんの
やろぅ〜〜
ゴゴゴゴ
よっくも
やったなぁ
〜〜
もう許さん！
あわわ…

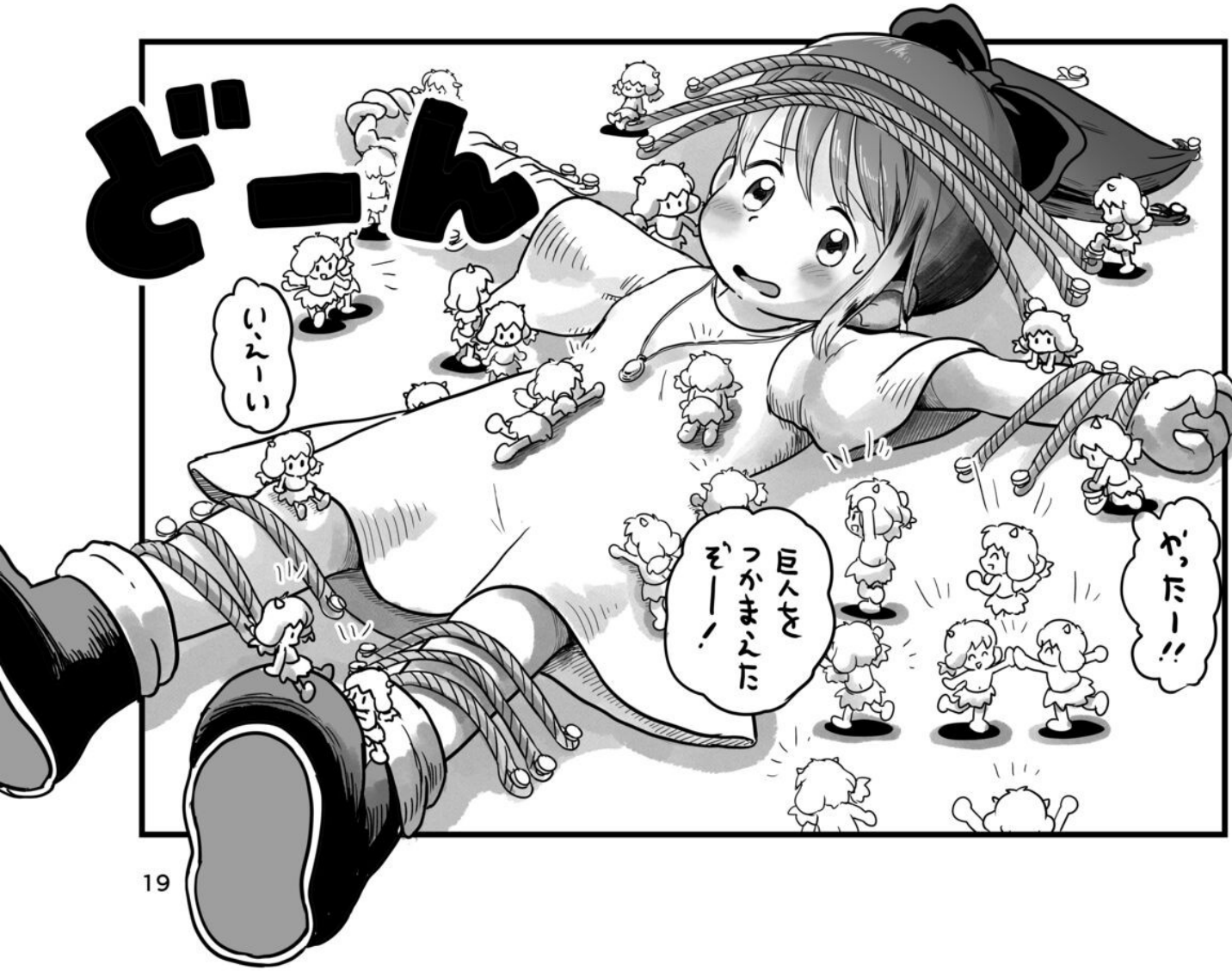

ひねりつぶして
やるぅ!!
ガアッ


ウォー
ゴゴゴ
キャー
ドカッ
バキッ
ウワー
ガンガン


どーーーん
ピーヨ
ピーヨ
あわっ
あわわ
ごっ、
ごめんなさい〜


やっぱりそう
ここは本の中で
起こることは全部
「物語」
はいはーい
本当の危険は
無いように
作られてるんだわ
くそ〜〜
確かに私の負けだ
今のままじゃ、
お前には勝てない
まだ終わらないんだ…
「今の大きさ」の
私ならなぁ！
カッ
忍法
〝豆分身の術〟〜!!
バッ
に、忍者
だったの
か〜いっ
ビシッ


ぐぐ
えっ!?
ぐる
ぐる
えぇっ!?
カン
トン
テン
え〜〜?
ボウン
ワーー!!


どーん
いぇーい
巨人をつかまえたぞー!
かったー!!

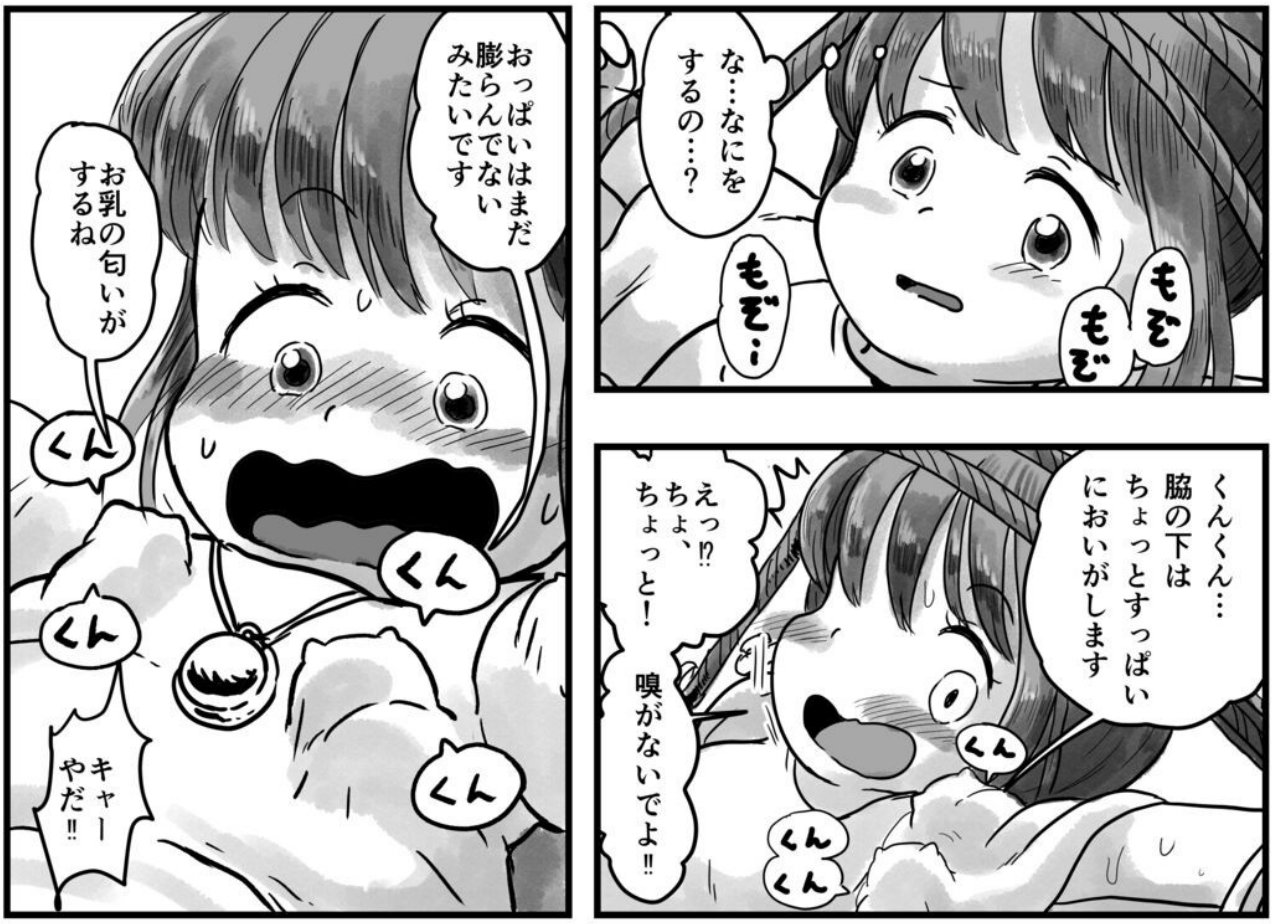

ギッ ギッ
うっ。
ぜっ 全然 動けない …
ふふっ どうだ 逆に小さい奴にやられる気分は


さあみんな!!
「服の中」に もぐりこめ~!!


袖口から 中に侵入できるぞ
もぞ…
もぞ


スカートの裾から も入ってみよう
かっ
もぞ
もぞ
もぞ
広いから いっぱい 入れるぞ


靴にも隙間があるぞ
ごそ ごそ…
履き口から 潜りこもう


もぞ
もぞ
もぞ…
な…なにをするの…？
くんくん…
脇の下はちょっとすっぱいにおいがします
くん
くん
くん
えっ⁉
ちょ、ちょっと！
嗅がないでよ‼
おっぱいはまだ膨らんでないみたいです
お乳の匂いがするね
くん
くん
くん
キャー
やだ‼


すんすん
足の先はちょっと臭いです
素足で靴をはいてるね
くん
くん
いやらん


ふふっどうだ！
これぞ〝くんくん地獄〟の術！
うう…
恥ずかしかろう辛かろう〜


おへその中はちょっと汚れてます
キャアー
くんかくんか…
パンツはちょっとおしっこ臭いです


うぅ…
ぐすっ…
やめ…
やめてよぉ…
ぐすん
ぐす…
ひっ
あーあ、
泣いちゃった
でも大丈夫
ゾゾゾ
うひっ!?
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
ビクッ
すぐに
笑顔になるから
こしょ
こしょ
こしょ
うっふふふ…
やっやめてっ
本当に
やめていいの
……？
ボソン
〝こういうの〟が
好きなんじゃ
ないの？
え……
なんでそのことを……


コチョコチョ…
うひっ
コチョコチョ…
コチョ…
くくくっ
やだっ
コチョコチョ


ん
ひぃ?!
ビクッ


ニャ…


それみんな
くすぐって笑わせろー!


くく…っ
うふふふっ
や、やだぁ
うくくくひひひっ
こちょ


ひっ
あはっ
あはは
こちょ


こしょこしょ…
こちょこちょ
ごじょごじょ〜
あはは
こちょ




うっひゃひゃ
ひゃ!!
指のつけ根
こちょこちょ
土踏まず
カリカリ〜
ぎゃはは
足の指の間って特に敏感なんだよね
念入りにくすぐってあげよう
こちょ
こちょ
ビクッ
足の甲も結構くすぐったいよね
すごいビクビクする
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
ビクッ
ふとももは長くてくすぐりがいがあるな
どこが一番くすぐったいか皆で見つけよう!
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
あはは、
あはっ…
んっ
脚の付け根もくすぐったいんだよね〜
こちょ
こちょ
こちょ
ジワ…


なんだろう、
パンツが濡れてるよ
トロ…
おしっこかな？


中に入って
もっとよく
見てみよう
もそもそ…


すごくヌルヌルしてる
くすぐったら
もっとおしっこ
出るかな
こちょ
こちょ


ああ…
わたし、今
体中を
くすぐられてる
あはは
はっ
あは


恥ずかしくて
くすぐったくて
どうにか
なっちゃいそう
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ


モモカちゃん…
モモカちゃんは
気づいてたのかな
だからこんなお話を、
私のために
書いてくれたのかな


あはは
ひいっはは
はは


みんな休憩――！
はー
はー


ナツミちゃんに
選ばせて
あげる
はー
はー


〝まいった〟と
言えば、すぐに
本の世界から
出してあげる
でも
〝お願い〟したら、
続けてくすぐって
あげる
どう？

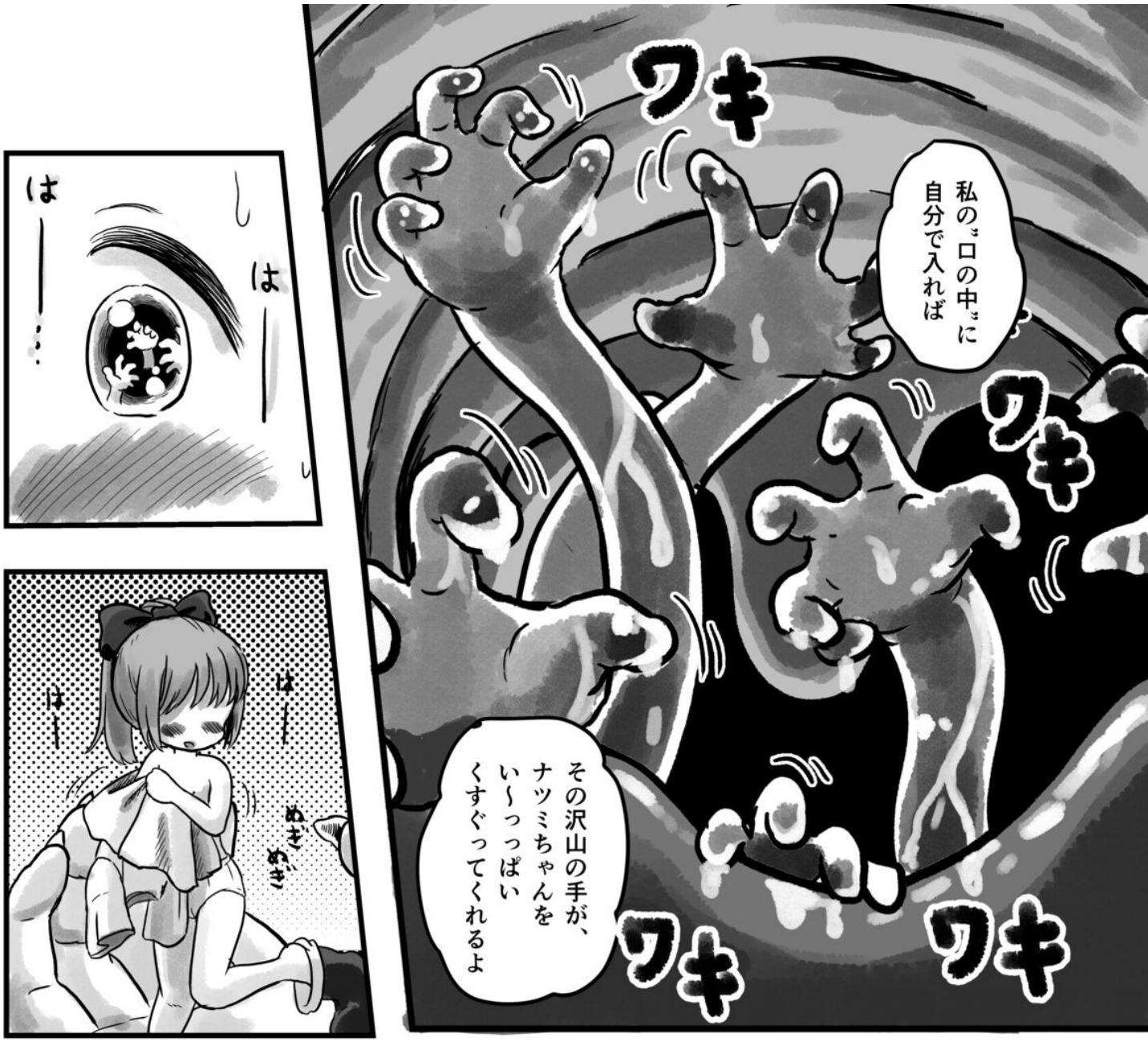

はー
はー…
すうー…


おっ
ギリ…


お願いします
……‼
もっと…
フーッ
わ…わたしを
フーッ
めちゃくちゃに
くすぐって
ください…‼


うん！
まかせて
その願い、
叶えてあげる
そこまでは
聞いてない


ふう
モコ…
モコ モコ
モコ
わーっ
手に乗って
グオォ…
グァバ
さあ、
みて…
グオォォ…
ズズ…。


私の〝口の中〟に
自分で入れば
ワキ
ワキ
ワキ
ワキ
その沢山の手が、
ナツミちゃんを
い〜っっぱい
くすぐってくれるよ
は〜
は〜!!
は〜
は〜
ぬぎ
ぬぎ

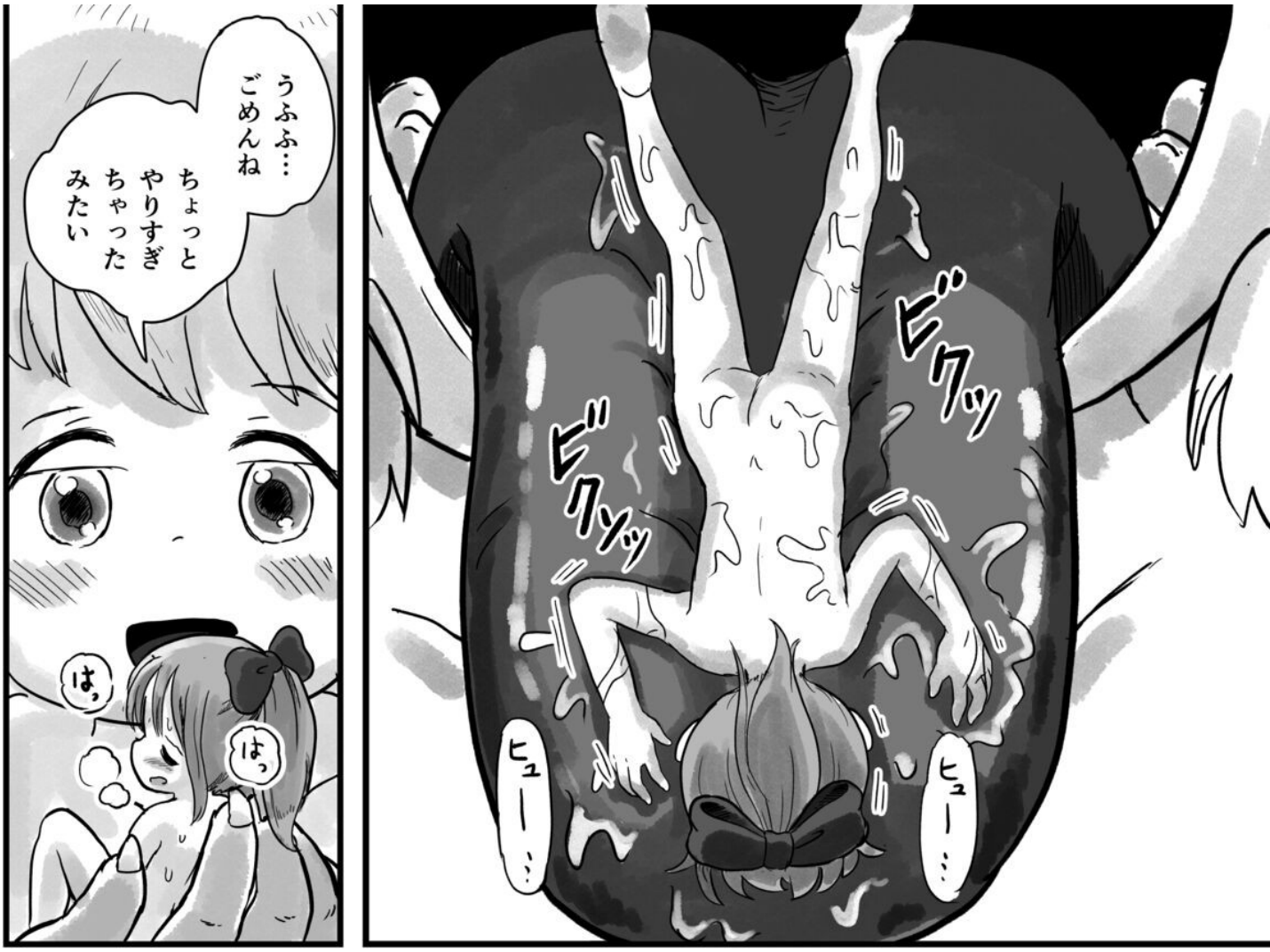

ヒタ…
ヒタ…
あ…
ガシッ
ガシッ
ビクッ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
くっ
ひひひ…

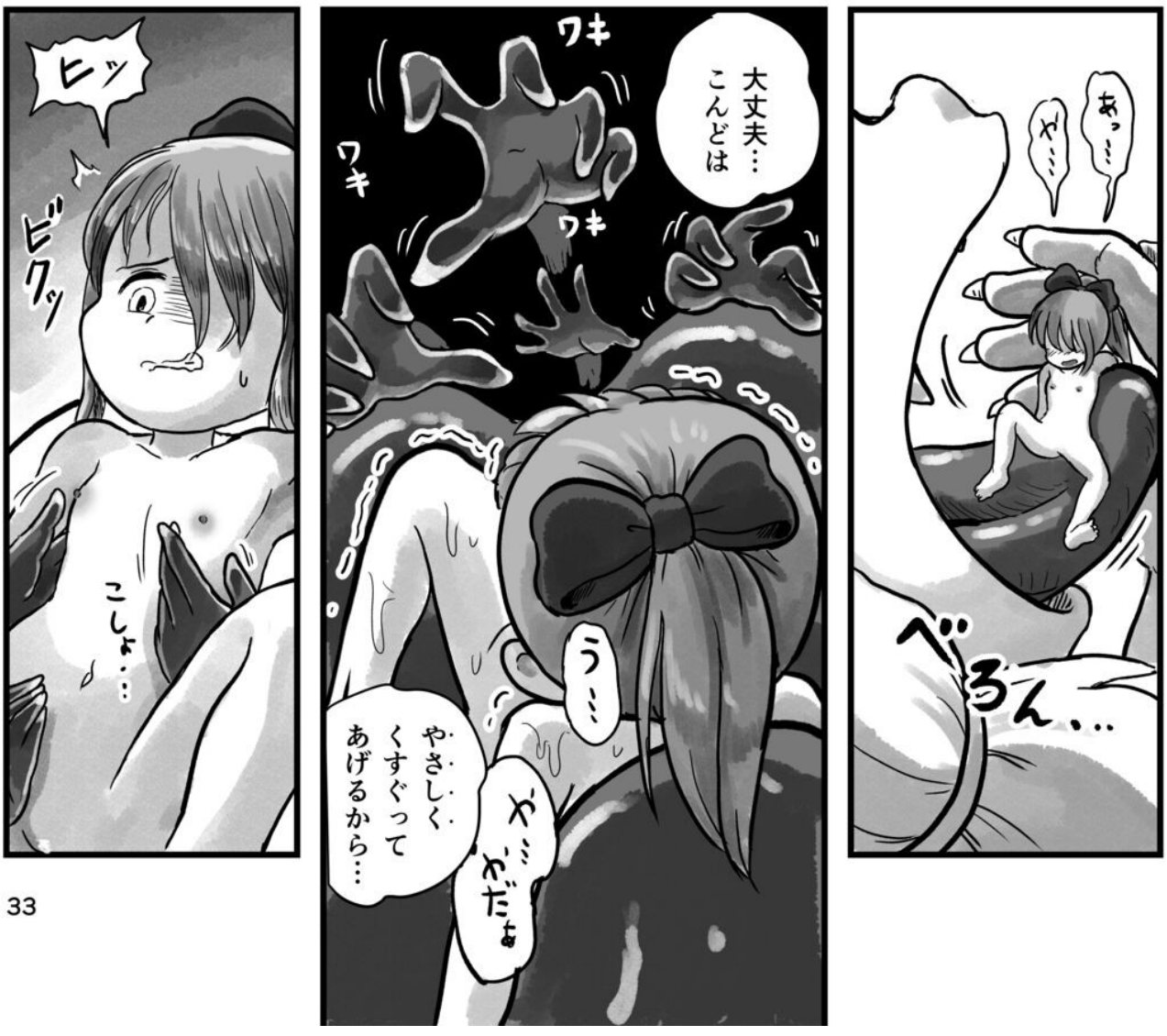

あはっ
あはははは！
ビクッ
こちょ
こちょ
こちょ

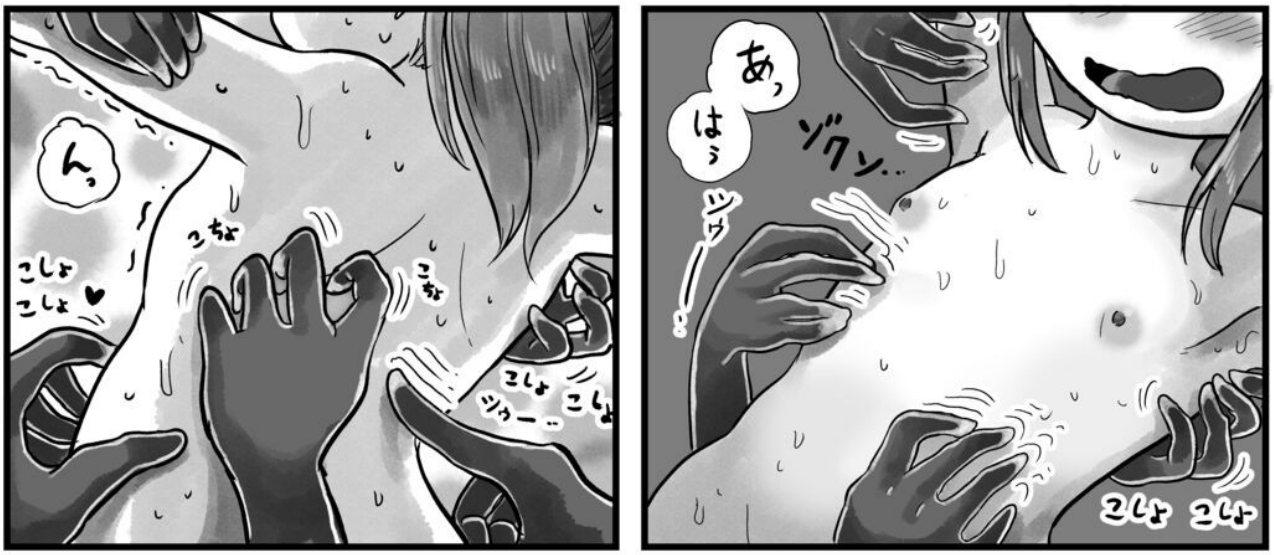

あっ!?
やだやだ
パンツ脱がさないで!
ぬぎ
ぬぎ
いやー!!
あはは
ちゅる…
やぁ
はは!!
ずる…
ぢゅる…
こちょ
こちょ
こちょ
こちょこちょ
こちょこちょ
もみもみ
もみもみ
くりくり
くりくり
こちょこちょ
こちょ…

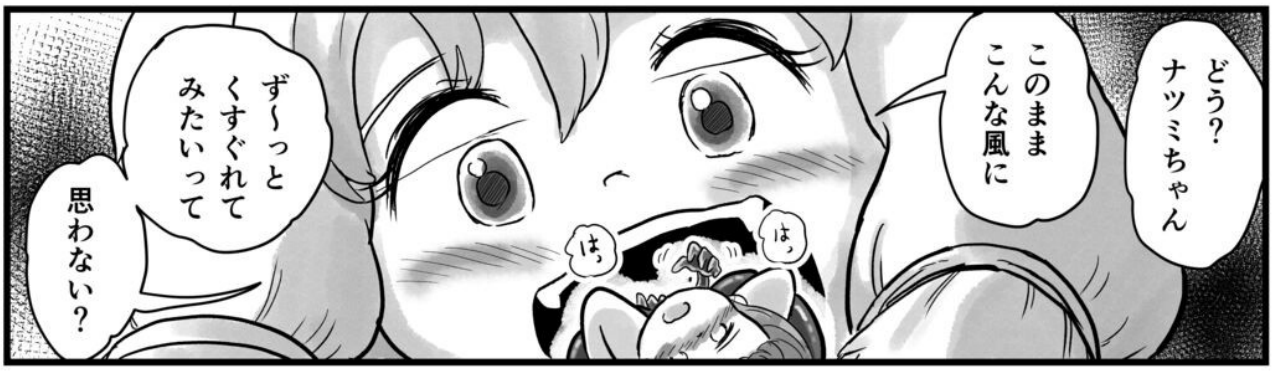

モモカちゃんのお口の中…
すごくすごくくすぐったい
ちゅ
ちゅ
あはは
あはは
ああ…
こちょこちょこちょこちょこちょこちょ
閉じられない
脇の下を
そんなに
まさぐらないで！
やめて!!
おっぱい
くすぐったい!!
こちょこちょこちょこちょこちょこちょ
あはは
気がヘンに
なりそう
やだぁ
そんなとこ
くすぐらないで！
なめなめ
恥ずかしくて
死んじゃう


ふぎっぃ!!
ビクッ
あぁ♡
それだめ!!♡
もみもみもみ♡
くりくりくりくり
ビクッ
くにくにくにくに♡
おかしく♡なる!!♡
ダメ…もう……
意識が……
あッ
あはは
ブンブン
やめッ
ぎゃはは
あはッ
はッ
カヒュッ
カッ
ハッ
あッ…
はっ…

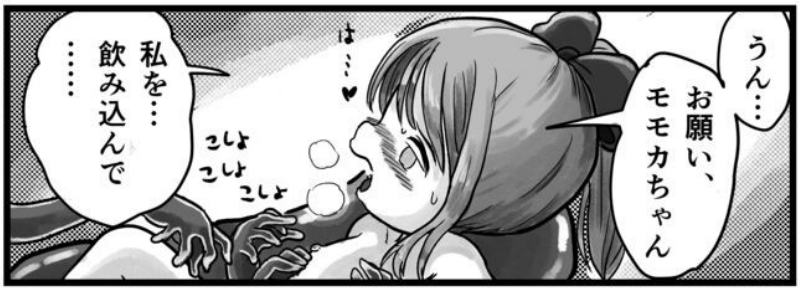

うふふ…
ごめんね
ちょっと
やりすぎ
ちゃった
みたい
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ヒュー…
ヒュー…


ヒッ
ビクッ
こしょ…
ワキ
ワキ
ワキ
大丈夫…
こんどは
やさしく
くすぐって
あげるから…
やだぁ
う…
あっ…
やだ…
べろん…


あっ
はぅ
ゾクン…
ツゥ——…
こしょ こしょ
んっ
こちょ
こしょ
こしょ♥
こちょ
こしょ
こしょ
ツゥ——…


どう？
ナツミちゃん
このまま
こんな風に
はっ
はっ
ず〜っと
くすぐれて
みたいって
思わない？

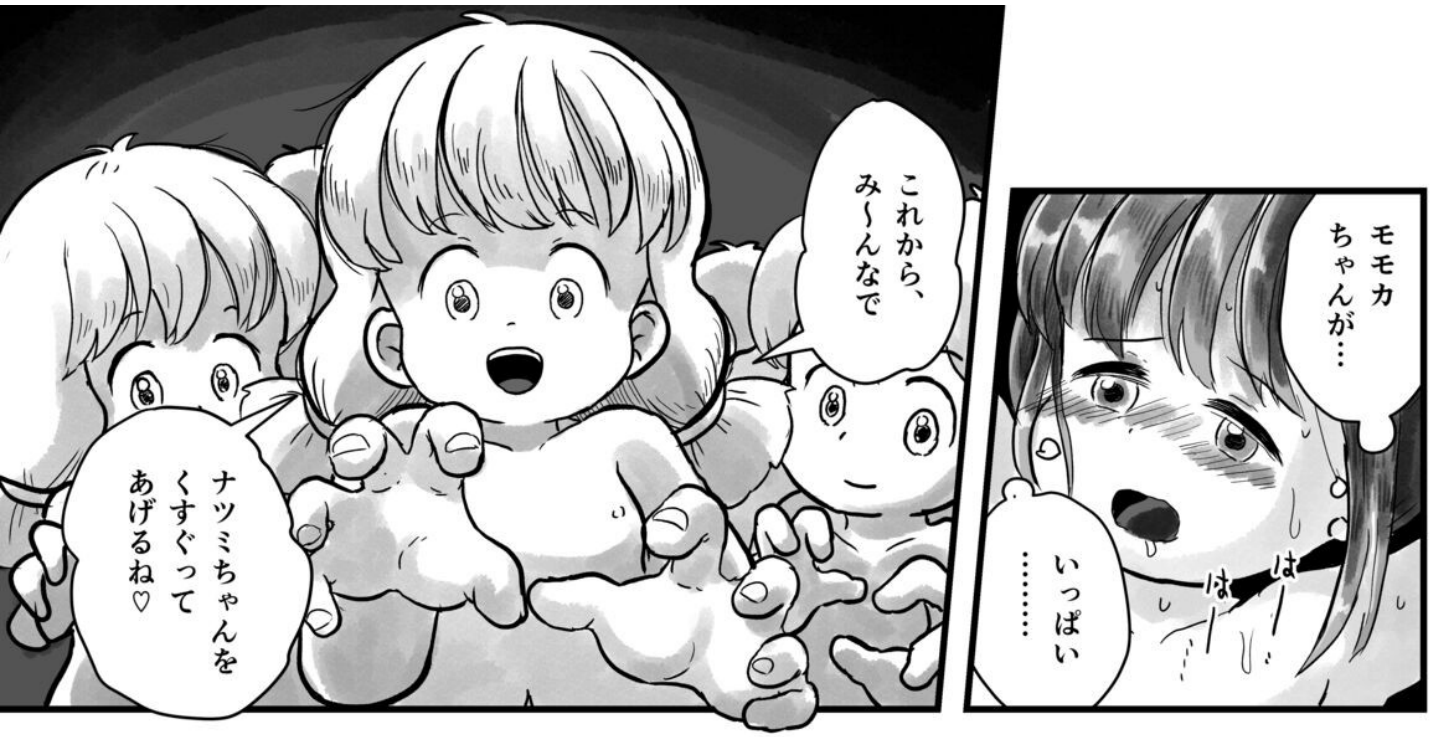

このまま
ナツミちゃんを
飲み込んでぇ
トン
トン
私の
お腹の中で
くすぐられ
続けるの


うん…
お願い、
モモカちゃん
はぁ…♥
こしょ
こしょ
こしょ
私を…
飲み込んで
……


うん
ナツミちゃんを
食べて
あげる♡

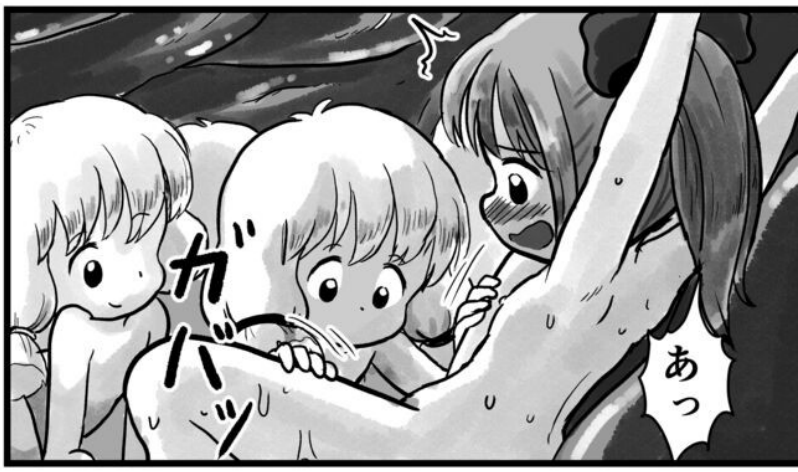

ちゅる
ちゅる

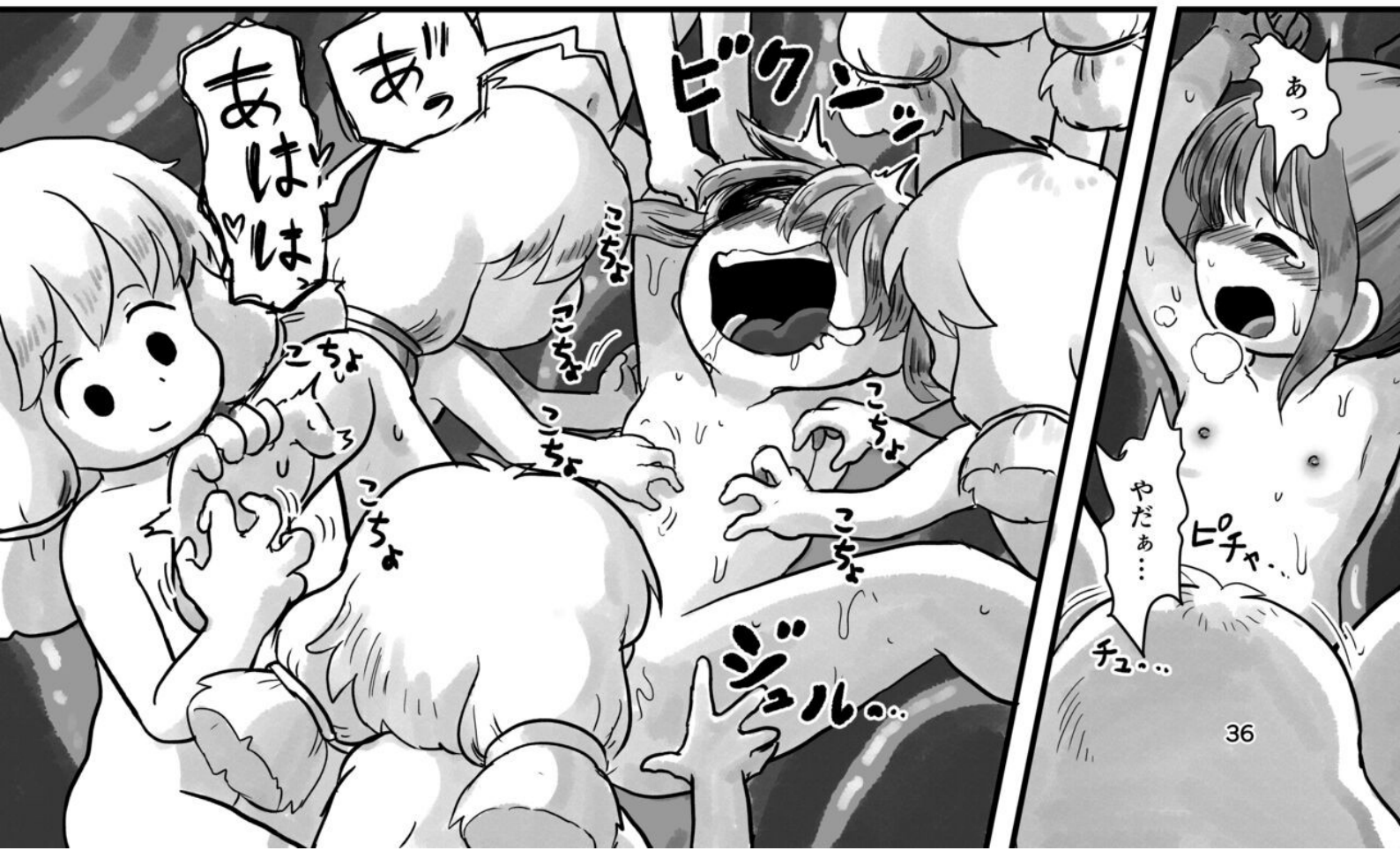

ごっくん
こしょこしょ
ヌル…
あっ♥
はぁ♥
こしょこしょこしょこ


これから、
み〜んなで
ナツミちゃんを
くすぐって
あげるね♡
モモカ
ちゃんが…
いっぱい
……
はー
はー


ピチャ
ピチャ


恥ずかしいよぉ
い、いやっ

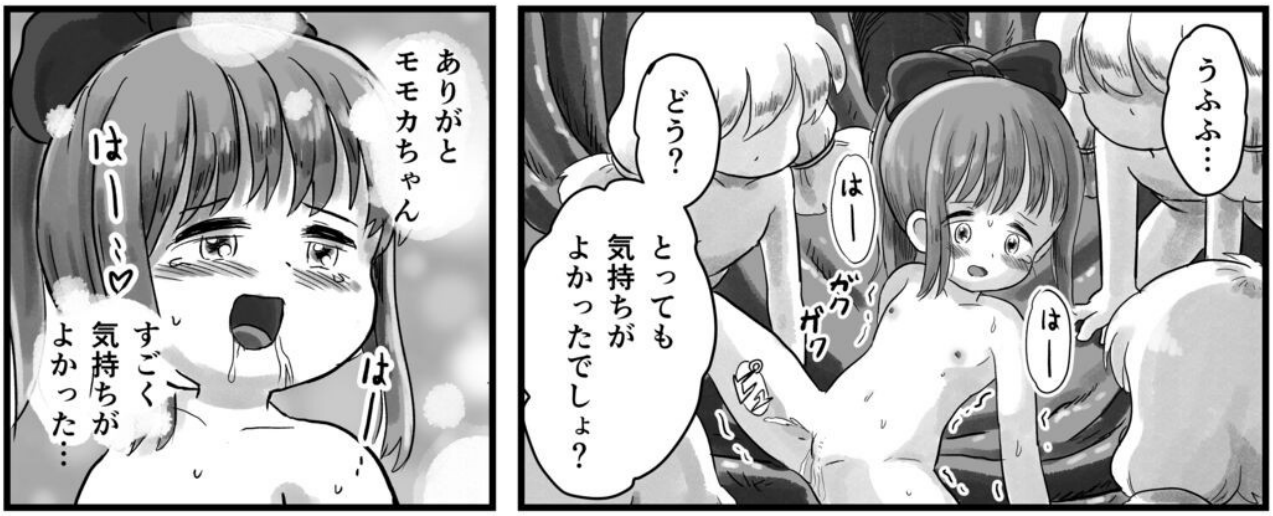

ガバッ
あっ


あっ
あはは♡
ビクンッ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
ジュル…
あっ
やだぁ…
ピチャ…
チュ…


レロ…
スー…
ビクッ
こちょこちょこちょこちょこちょ
こしょこしょこしょこしょこしょ
きゃはッ!?
ビクンッ
カリカリカリカリカリ
ダメッ
くすぐったいッ
こちょこちょこちょこちょ
やだ…そんなとこばっかり……
ぞくん…
こしょこしょ
ひっ
きたないよぉ…
ぞくん…
レロレロレロレロレロレロ
あはッ
あぎゃ
コチョコチョコチョコチョコチョコチョコチョコチョ
もっと笑って
もっともっと
あはははっ!!
くすぐったくしてあげる♡
おかしくなっちゃうッ!!


こちょこちょ
こちょ
あはは
笑って
笑って
気持ちよく
なって
気持ち……
いい…？
こちょこちょ
こちょ
もっと笑って
ナツミちゃんの
笑顔
いっぱい
見せて
とっても
くすぐったくって
モモカちゃん
私の夢を
叶えてくれて
ありがとう
きゅん
きもちいいよ
あはは
はは
38

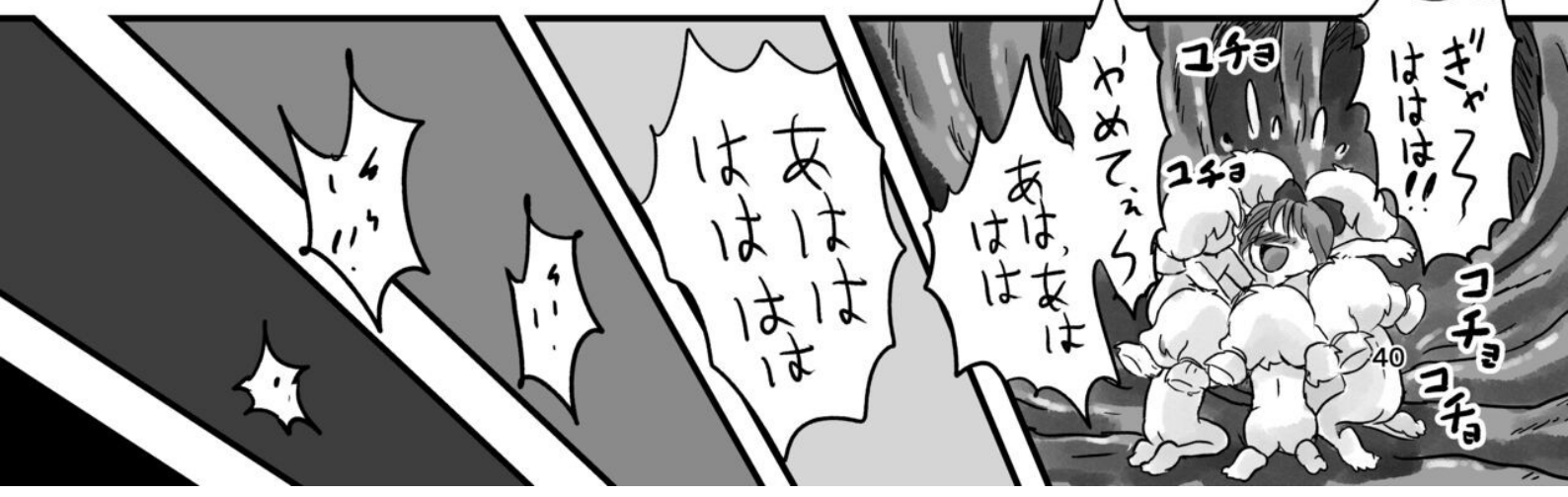

もう…
なっちゃう……
レロレロ
レロレロ♥
あっ
あっ
あ
あ
あ
ビクン
一番、きもちいいの
来ちゃう…!!
ビクン

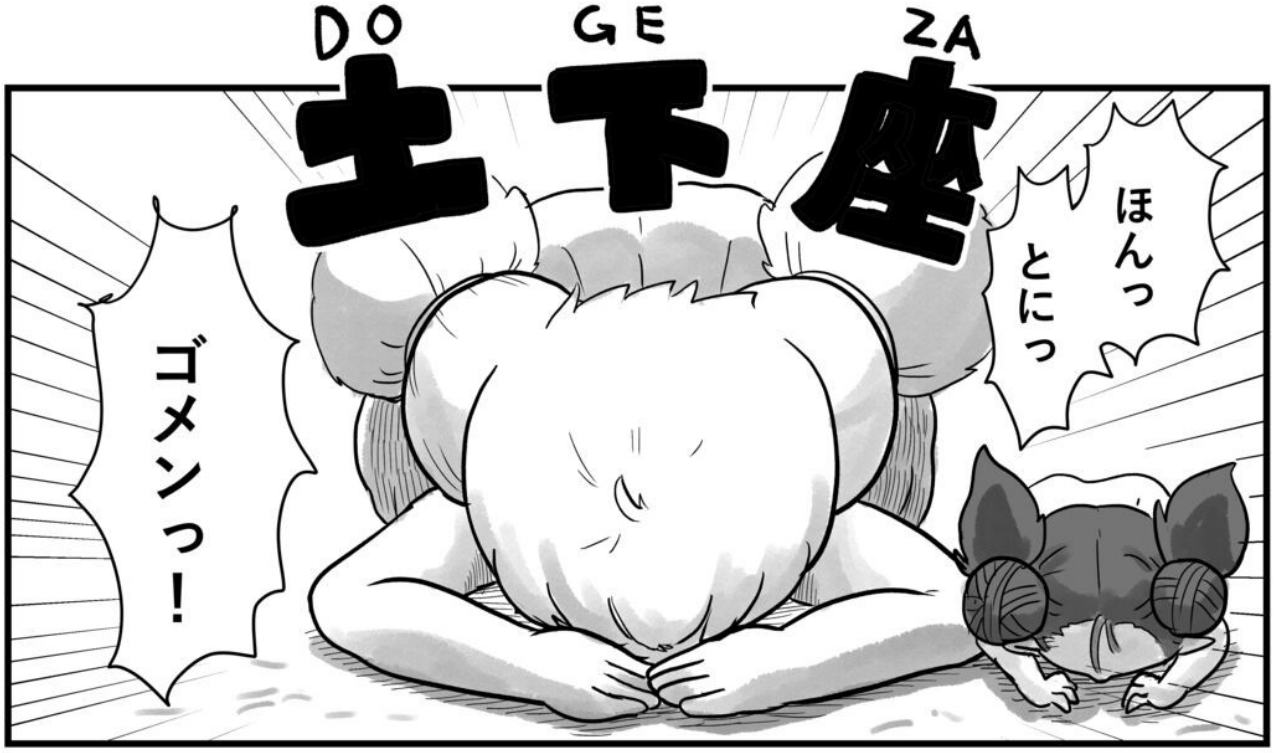

うふふ…
はー
はー
ガクガク
どう？
とっても
気持ちが
よかったでしょ？
ありがと
モモカちゃん
はー♡
すごく
気持ちが
よかった…
はー


うふふ
うひへへッ
さっきよりも
体が敏感になって
もっとくすぐったく
感じるでしょ？
ちょっ
ホントに…
コチョ
コチョ
コチョ


でもまだ
終りじゃないよ
そうそう
これからが
本当の
お楽しみ
え!!?
ちょっ!!?
コチョ
コチョ
ビクッ

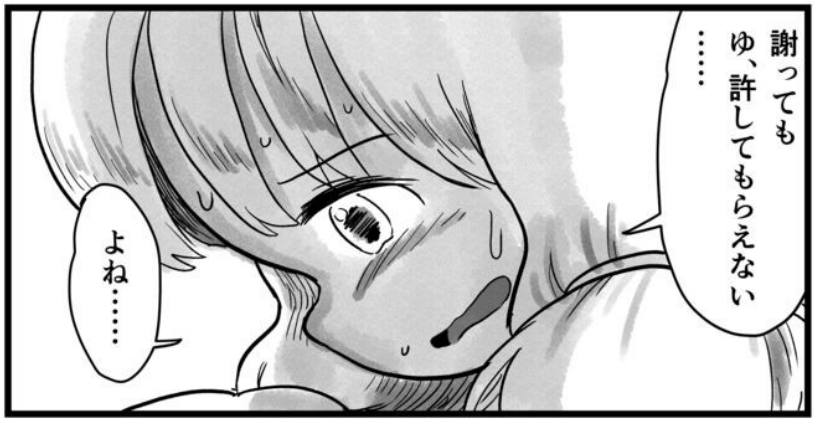

これからここで
ず～～っと
くすぐってあげる
永遠に


ぎゃ
ははは!!
コチョ
やめてぇ
あは,あは
はは
コチョ
コチョ
コチョ
あはは
ははは
ッ!!!
ッ!!!


DO GE ZA
土下座
ほんっ
とにっ
ゴメンっ！

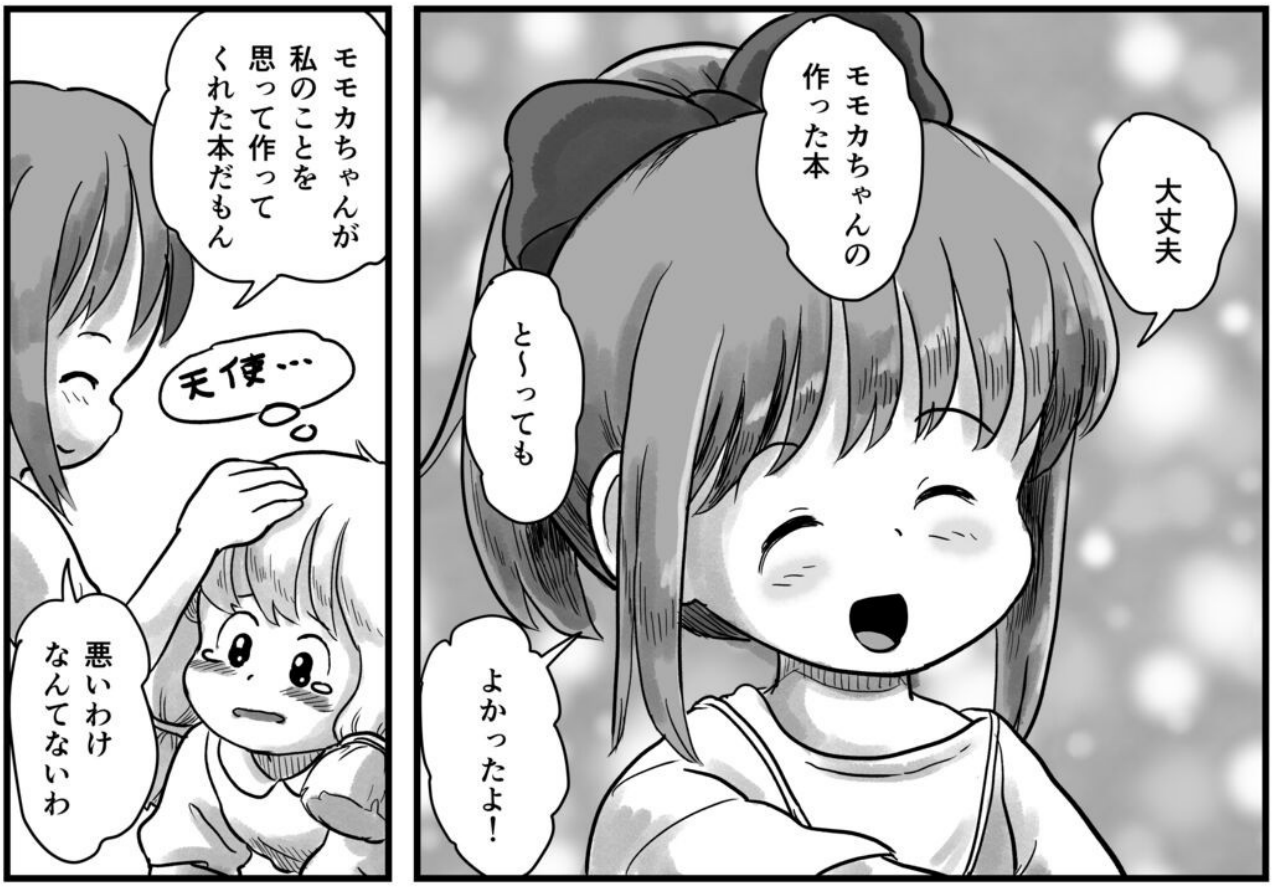

私、夜中まで
徹夜で本を
書いてたら
途中で
な、なんか
ハイになっ
ちゃって…
ナツミちゃんを
とんでもない目に
遭わせちゃった
……
出られた


手ぬるいわモモカ！
そんなんじゃ彼女は
満足しないわ！
はー
はー
私達が受けた
苦しみはこんなもの
じゃなかったハズよ！
もっと
てっていてきに！

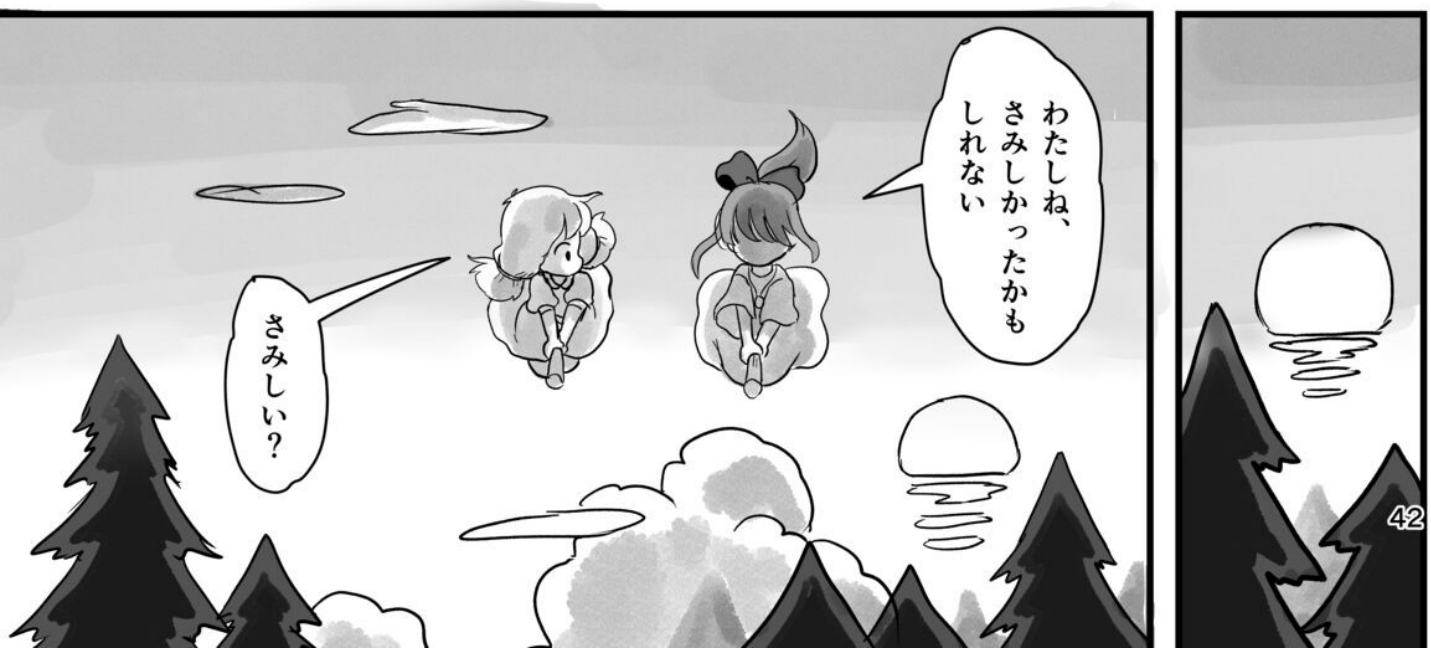

謝っても
ゆ、許してもらえない
……
よね……




ス、
ビクン


大丈夫
モモカちゃんの作った本
と〜っても
よかったよ！
モモカちゃんが私のことを思って作ってくれた本だもん
天使…
悪いわけなんてないわ

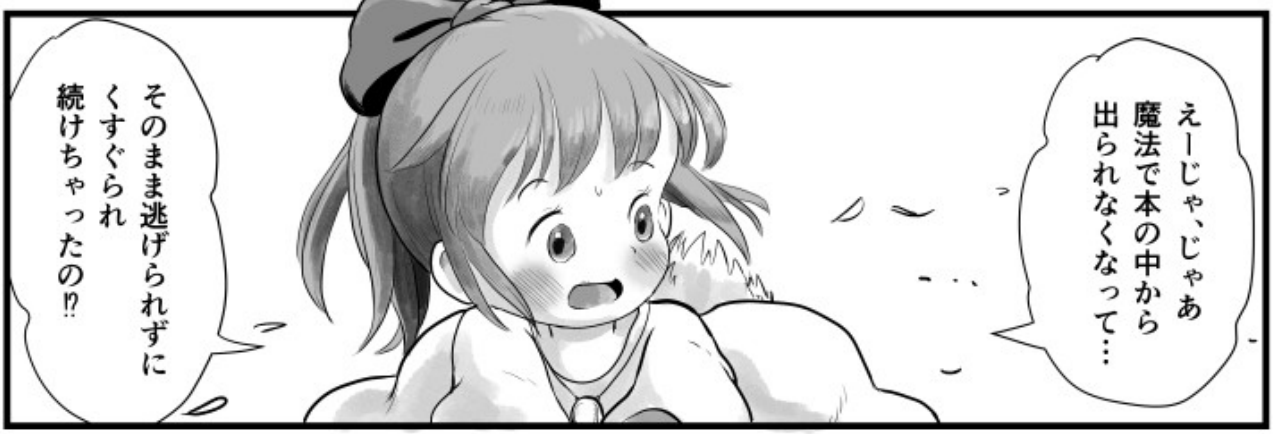

んー、でも私がくすぐられるの好きなのを知ってて隠してたのはちょっとショックだったかなー
う
ごめんなさぃ
いいの！
私も秘密にしてたから、おあいこ！

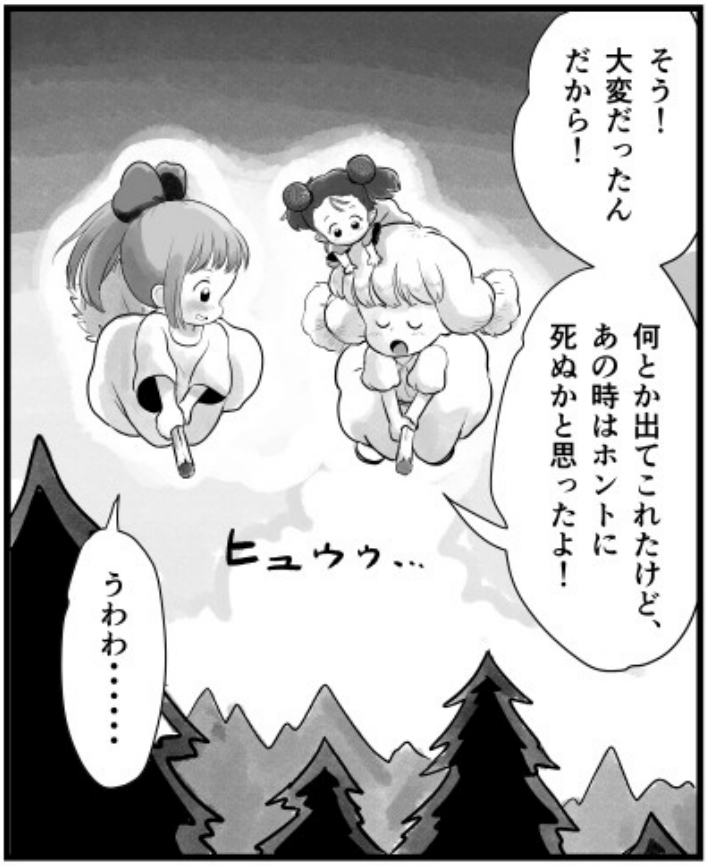

わたしね、さみしかったかもしれない
さみしい？


私のお父さんって
遠くへ行くお仕事で
中々お家に帰って
こられないじゃない？
ちっちゃい頃は、
お父さんがよく
私をくすぐって
きてくれて
私もお父さんに
甘えたくて、
くすぐられに
いったりしてたの
そうだったんだ……
でも今はもう
平気！
パチン
だってモモカちゃんが
いるんだもん
また…今度
もじ…
く……
くすぐってくれたら
うれしいな……
えっ
あっ
うん！


魔法少女が
くすぐられる木
ソライ
ナツミ
ももか


魔法学校
カラーン
コローン
放課後―
えー!?


えーじゃ、じゃあ
魔法で本の中から
出られなくなって…
そのまま逃げられずに
くすぐられ
続けちゃったの!?

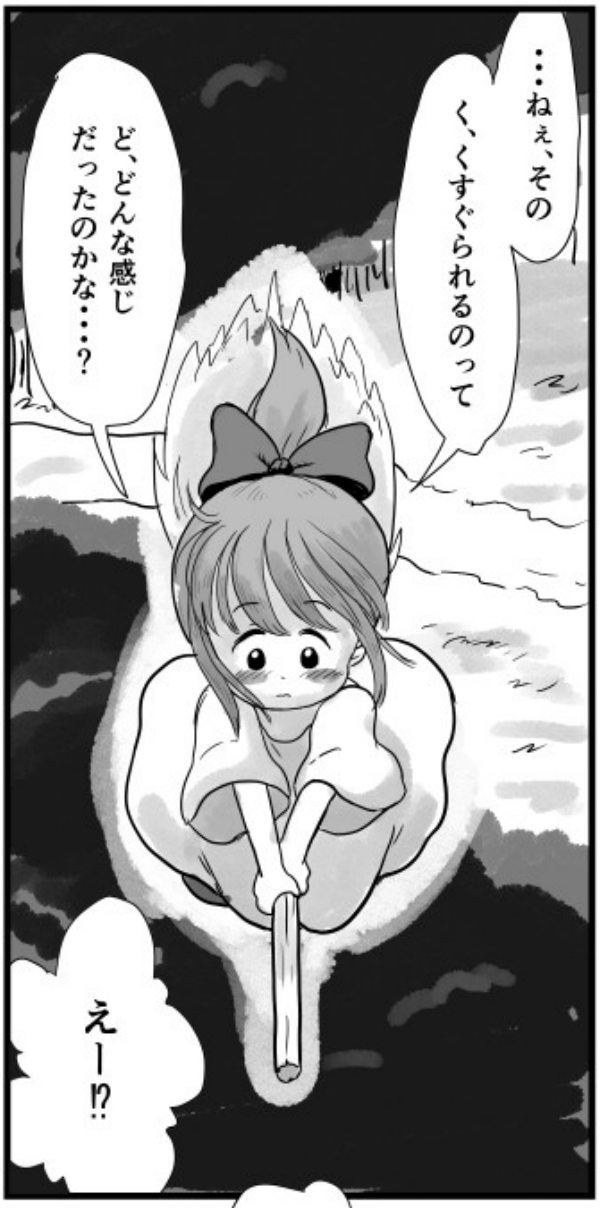

そう!
大変だったん
だから!
何とか出てこれたけど、
あの時はホントに
死ぬかと思ったよ!
ヒュウゥ…
うわわ……


ね、ねえ…
その本って…ま、
まだあるのかな…

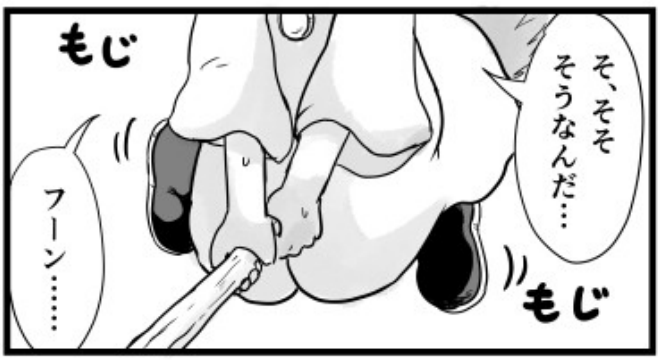

ううん、
あんな危険な本
父の書いた本が
それからすぐに
燃やしちゃったよ!




……
そっかぁ…

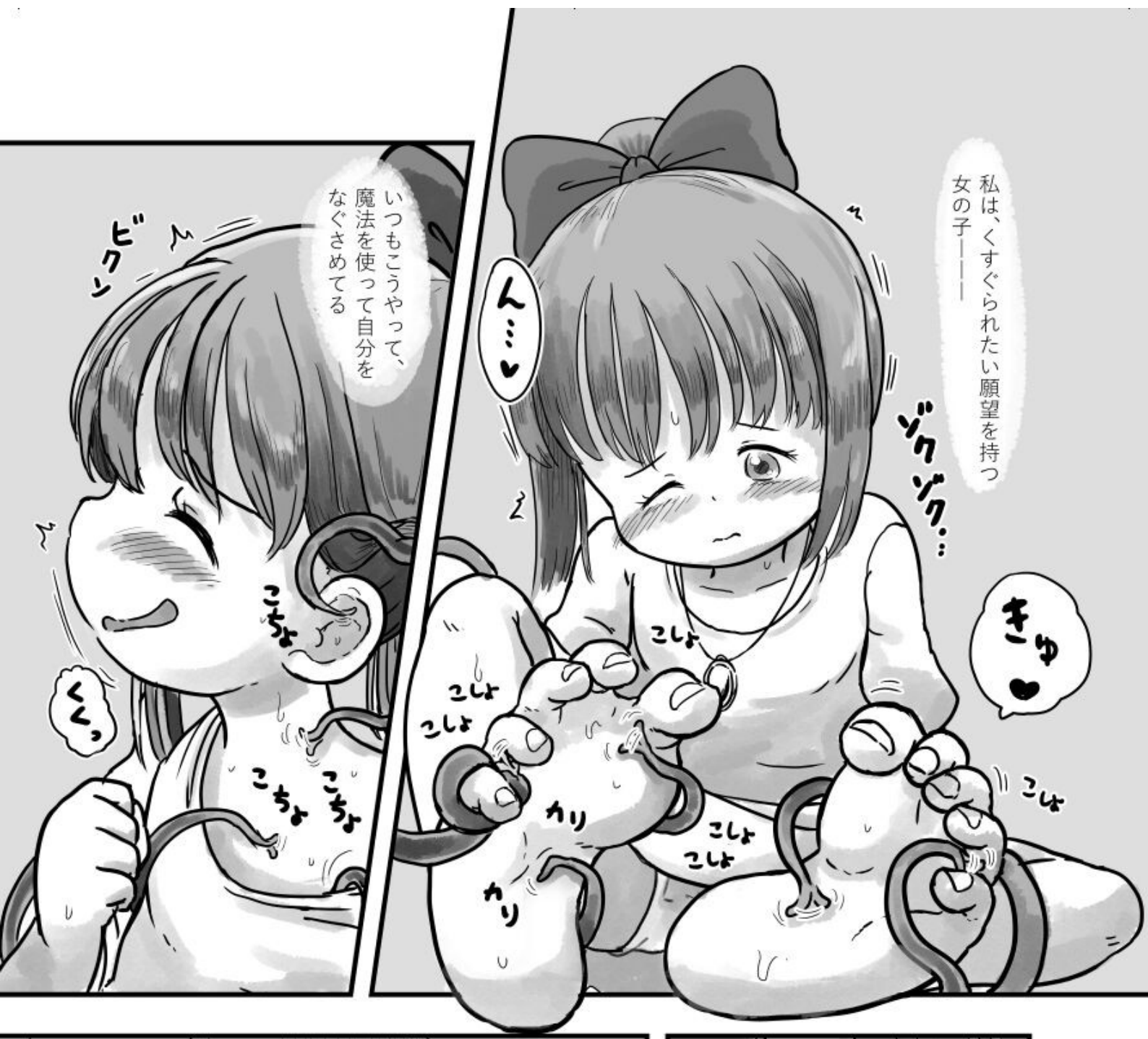

…ねぇ、その
く、くすぐられるのって
ど、どんな感じ
だったのかな…？
えー!?


そりゃもう、
苦しいの
なんのって
どれだけ暴れても、
泣いてもくすぐりを
止めてくれないし
力尽きて動けなくなっても、
回復魔法をかけられて
またくすぐられてさー
ねー！


もじ
もじ
そ、そそ
そうなんだ…
フーン……


それじゃあ
また明日！
私のお家
で遊ぼうね！
バイバイ
ナツミちゃん！
うん
バイバイ
モモカちゃん


ぬぎ
ぬぎ
フゥ…
バタン
モモカちゃんは
私の一番の友達
でも――
そんな
モモカちゃん
にも言えない
秘密がある
ポウ…
緑と大地の
精霊よ
我の意思に
従い動き
たまえ―
シュル
シュル…
んっ……
こしょ
こしょ
こしょ

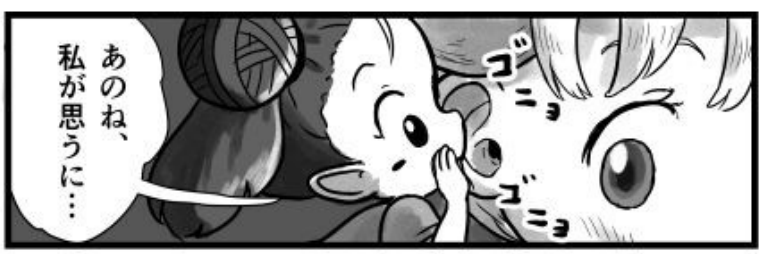

私は、くすぐられたい願望を持つ女の子――
ゾクゾク…
ん…♥
きゅ♥
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
カリ
カリ
カリ
いつもこうやって、魔法を使って自分をなぐさめてる
ビクン
こちょ
こちょ
こちょ
くっ


でも――
スー…
ビクッ
もぞ…
もぞ…

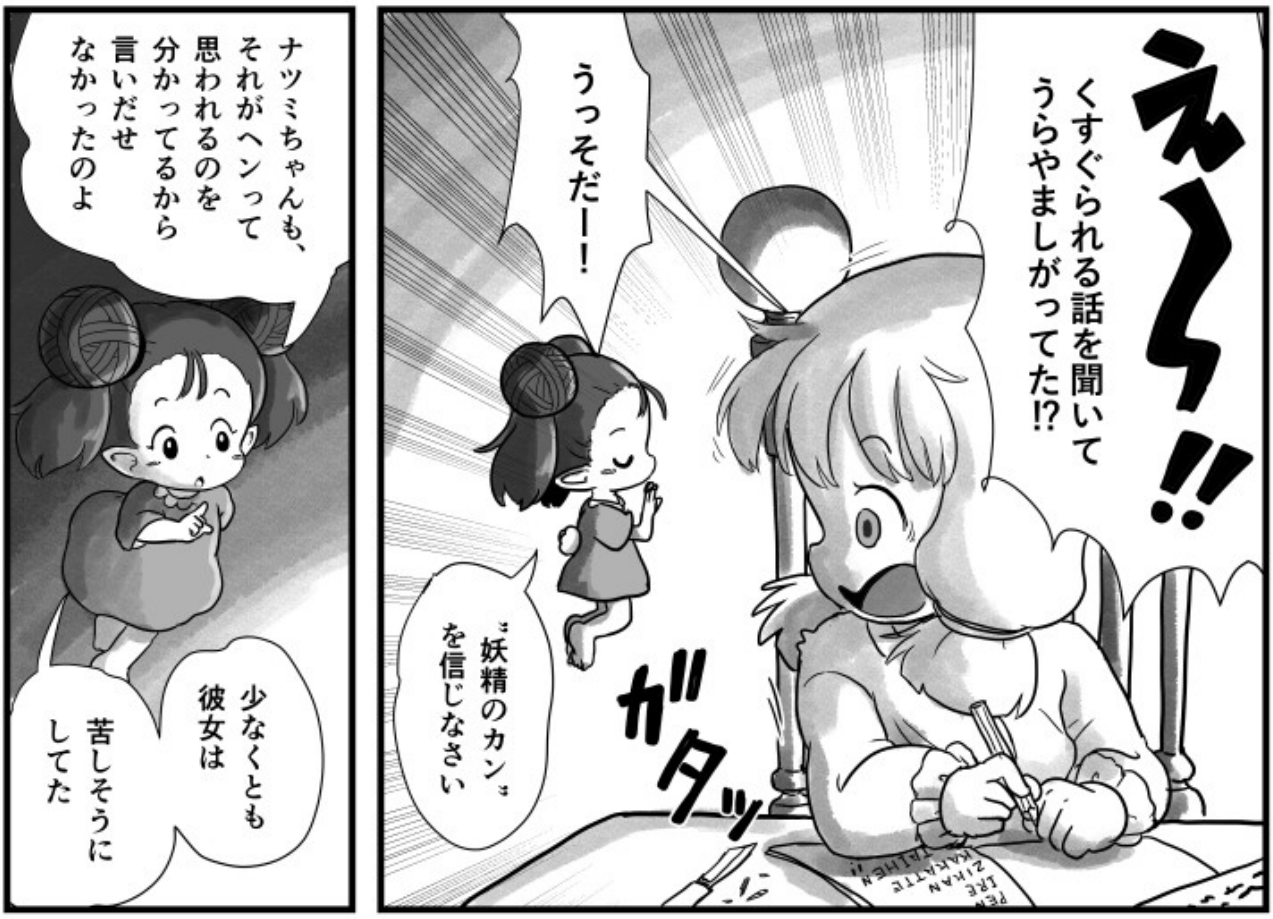

ああっもう!!
あんな話を聞いた後だと
全然刺激が足りないわ!!
ガバ

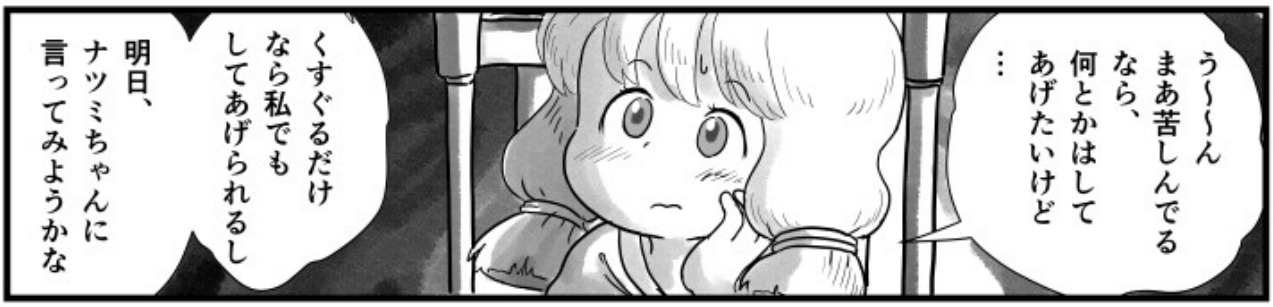

一度でいい
私もめちゃくちゃに
くすぐられて
みたい!!
ねえ、
モモカ
んー?
なぁにソフィ
今日のナツミちゃんの
ようす
ちょっと変じゃ
なかった?
勉強中
そう?
私は特に
気づかなかった
なぁ
えーと、
これが
こうなるから…
カキカキ
ううん、絶対
ヘン!
「妖精のカン」が
いつもと違うと
言ってるわ!


豆知識
小さいから
ここの長所!
「妖精族」のソフィは
人の微妙な変化から
心理状態を読む事に
長けているぞ!


ゴニョ
ゴニョ
あのね、
私が思うに…


う〜ん…
ソフィが言うなら
そうなんだろう
けど…
いったい何が
ヘンだったの?


えぇ!!
くすぐられる話を聞いて
うらやましがってた!?
うっそだー!
"妖精のカン"を信じなさい
ガタッ
ナツミちゃんも、
それがヘンって
思われるのを
分かってるから
言いだせ
なかったのよ
少なくとも
彼女は
苦しそうに
してた

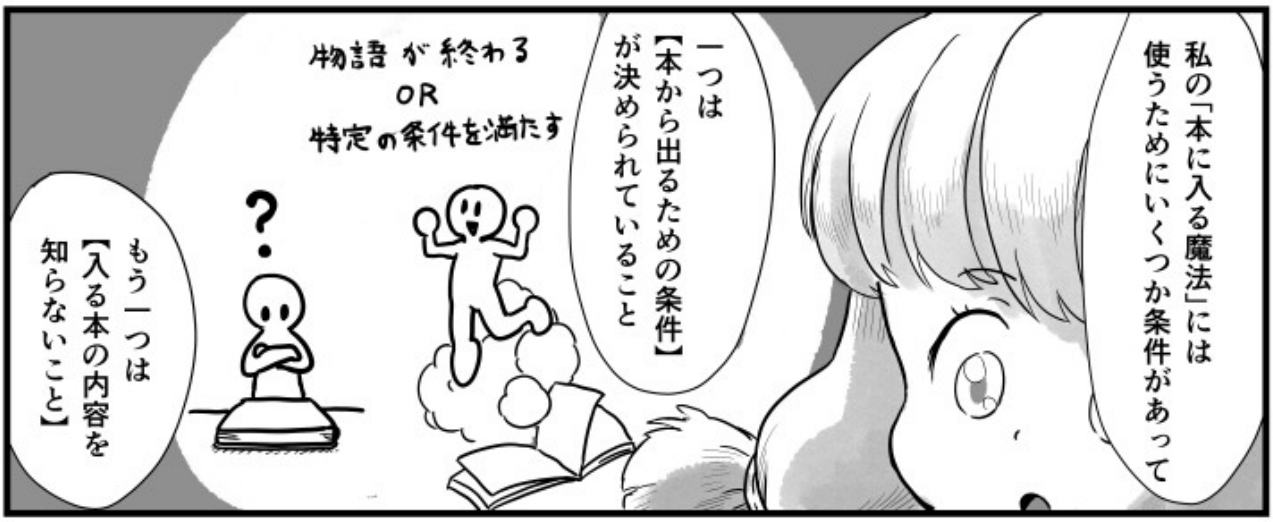

う〜ん
まあ苦しんでる
なら、
何とかはして
あげたいけど
…
くすぐるだけ
なら私でも
してあげられるし
明日、
ナツミちゃんに
言ってみようかな


だめよ!
恥ずかしくて
秘密にしてるのに
こっちから言ったら
彼女を傷つけて
しまうわ!
えー、
じゃあ
どうすれば
…


そうだ!


いい事思いついた!
こうしちゃ
いられないわ!
モモカ、
宿題はいいの?
そんなの
やってる
場合じゃない
わ!!


チュン
チュン
ずーへ.ん
モモカの
はじめて
物語♡
モモカちゃん
どうしたの⁉
なんだか
元気が
ないみたい
へ…へへ
ちょいと
微夜
しちゃい
ましてねぇ
それよりさ！
ナツミちゃんに
お願いが
あるんだけど
私の魔法のことは
知ってるよね？
モモカの
はじめて
物語
ええ…と
魔法には誰でも覚えられる
「一般魔法」と
竜に
ヘンシン！
ファイヤー!!
血筋を持つ人にしか
使えない
「血統魔法」が
あるんだよね
学校で
習った
モモカちゃんの
「血統魔法」は
〝本の中に入る魔法〟
…でいいんだよね？
そうそう！


私の「本に入る魔法」には
使うためにいくつか条件があって
一つは
【本から出るための条件】
が決められていること
物語が終わる
OR
特定の条件を満たす
?
もう一つは
【入る本の内容を
知らないこと】

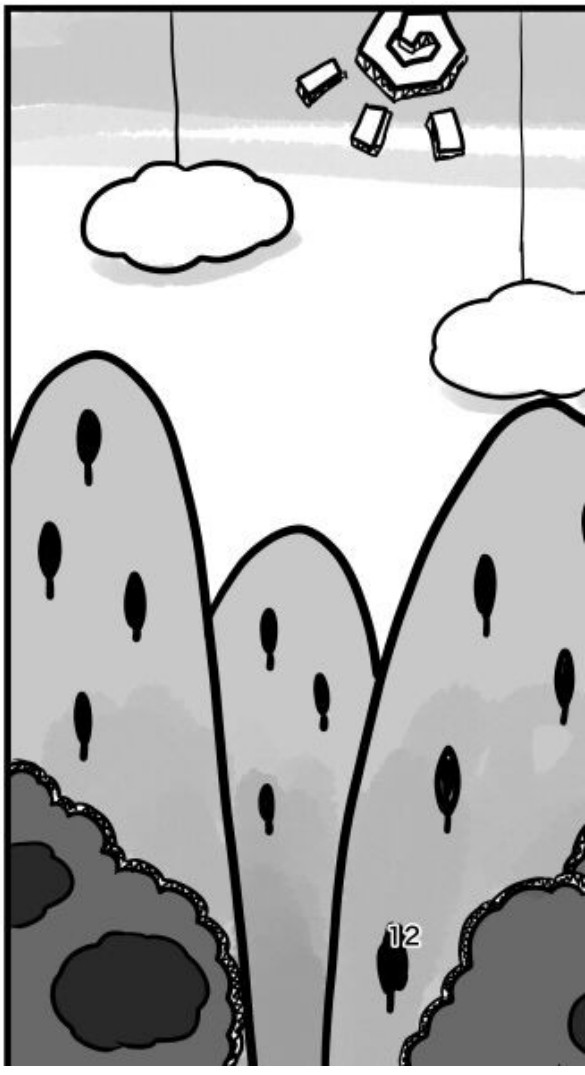

二つ目の条件があるから、
自分で書いた本に
自分で入ることは
できない…
でも、自分で作った本を
誰かが入って冒険して
くれるのって素敵じゃない？
フムフム


…で、モモカちゃんが
作った本に、私が
入って欲しい…と
あったりー♪


初めて作った本だから、
うまくできてないかも…
ちょっと恥ずかしいけど
初めては
ナツミちゃんが
いいんだ
もじ…


うん！いいよ
私で良ければ
やったぁ!!

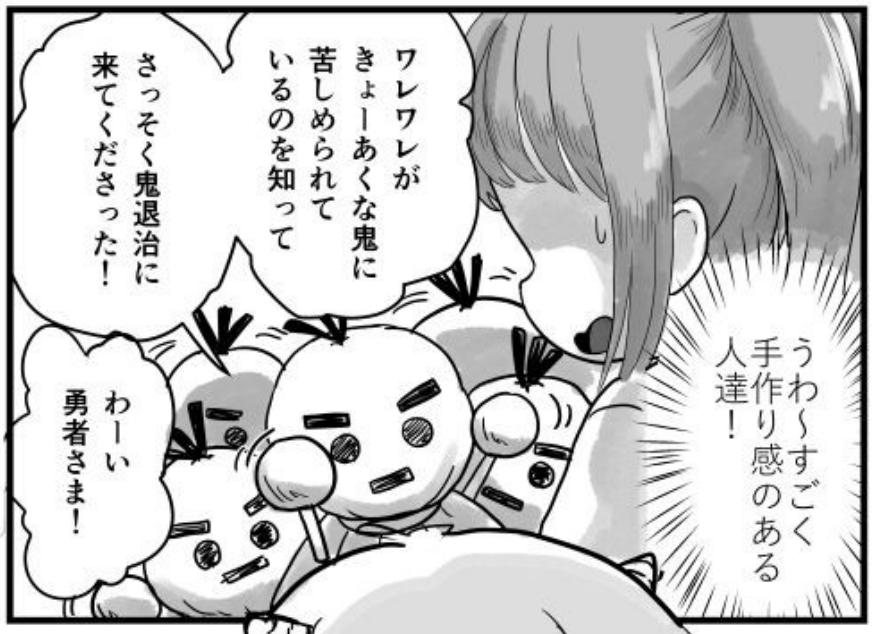

—ってかんたんに言っちゃったけど
知識と空想の精霊よ—
本の世界に入るなんてドキドキ
かの者を遠き世界へいざないたまえ—
モモカちゃんが作った初めての物語
いったいどんな世界なんだろう
何が起こるんだろう




ここが本の中の世界…
なんだか、ちっちゃい頃にやったお遊戯会みたいな雰囲気


ワッ
おおっ勇者さま！
やっぱり我々を助けに来てくださったのですね！

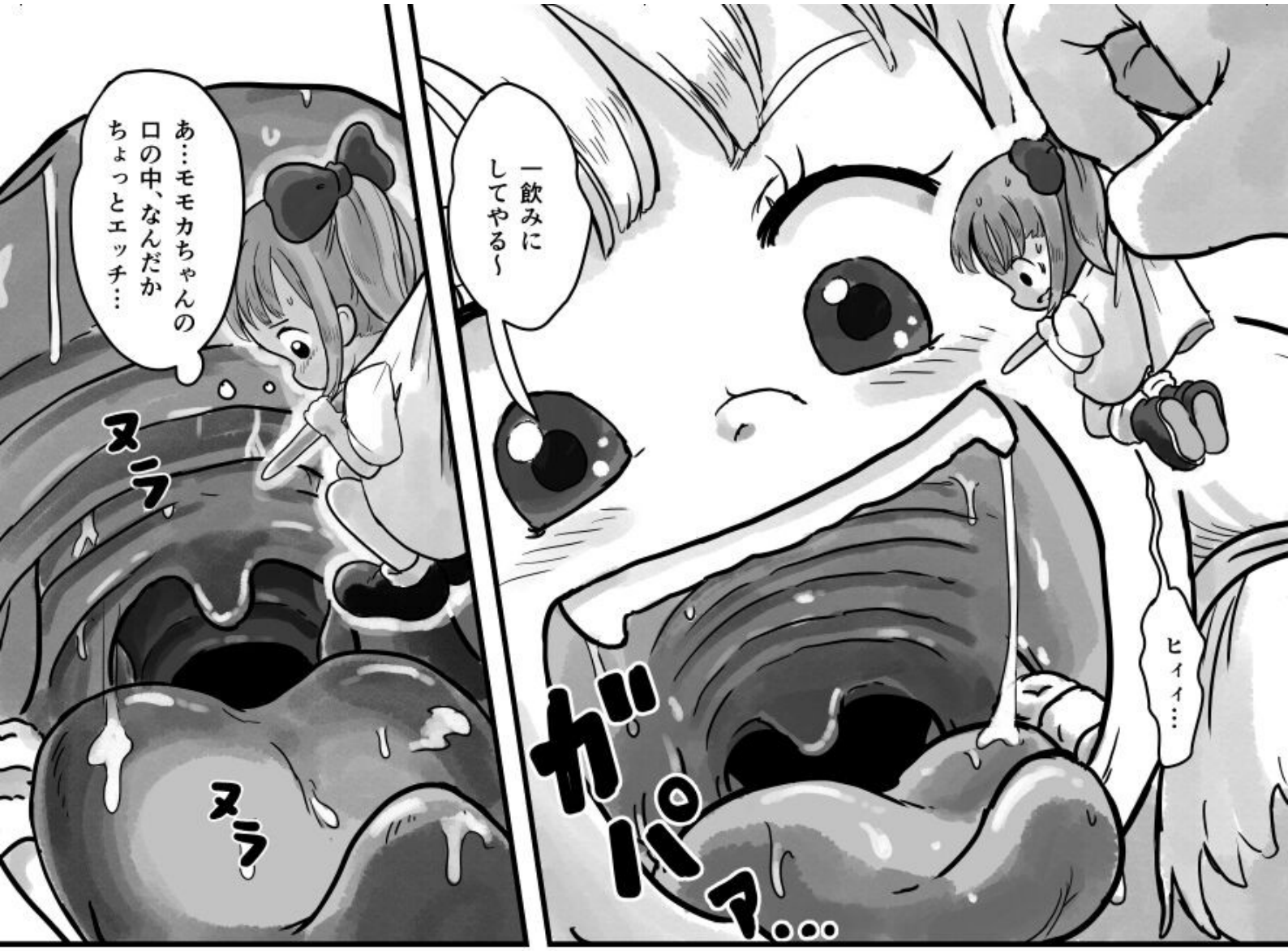

勇者…鬼…
いった何の…
お前がオレを倒す
勇者〜?


うわ〜すごく
手作り感のある
人達!
ワレワレが
きょーあくな鬼に
苦しめられて
いるのを知って
さっそく鬼退治に
来てくださった!
わーい
勇者さま!


おもしろい…
倒せるものなら
倒してみろ〜
ずーん
で、でっっかい、
モモカちゃん!!
オニだー
にげろー


あ、あの
それは何かの
まちがい…
お前なんか
な〜〜


こうして
ギャー
しまうよ


ヒィィ…
ガパァ…
一飲みにしてやる〜
あ…モモカちゃんの口の中、なんだかちょっとエッチ…
ヌラ
ヌラ

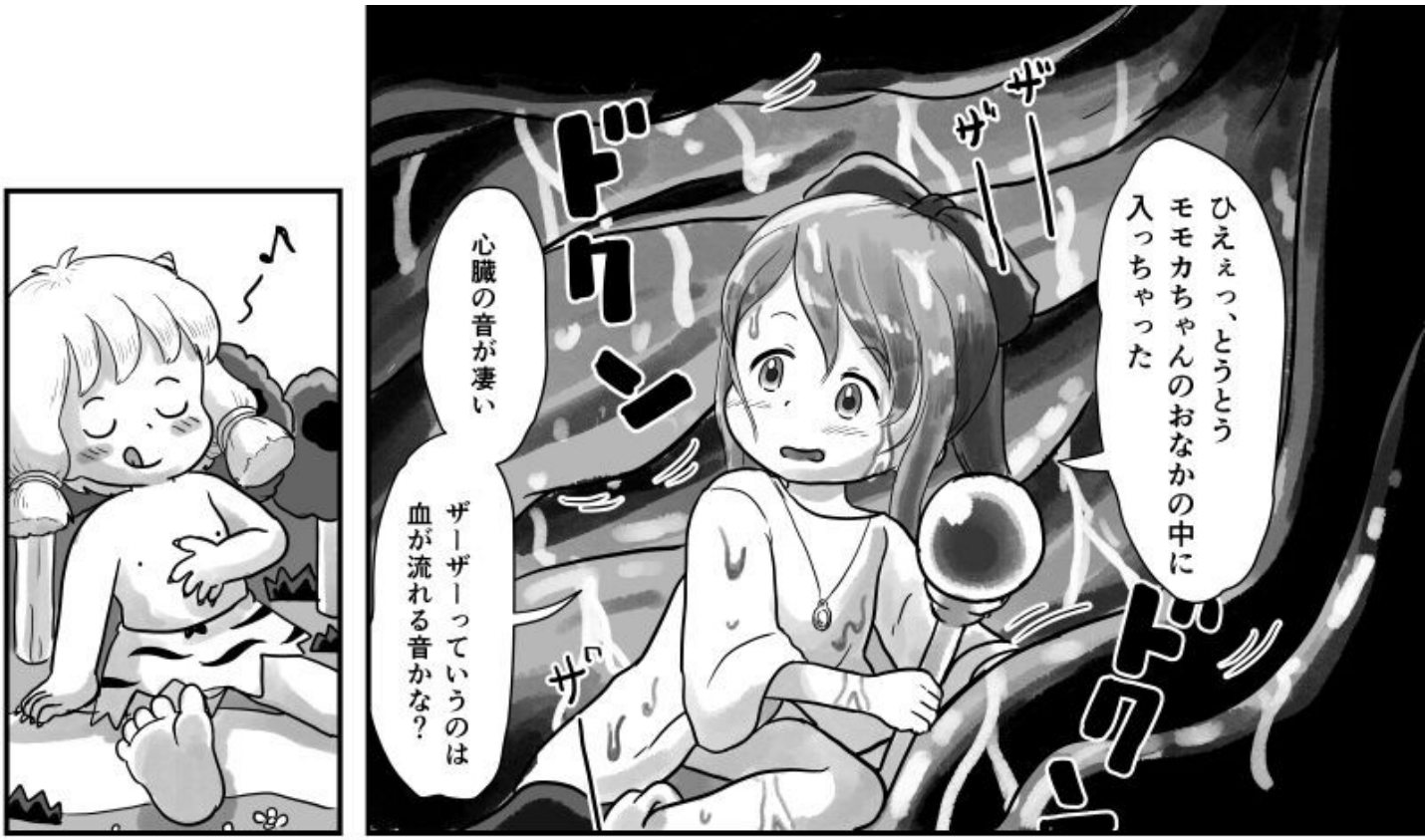

もごもご


パッ
パクン

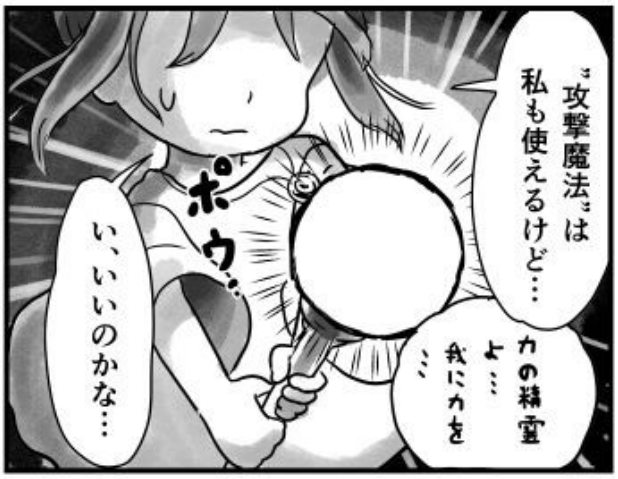

って場合じゃない!!
食べられちゃう〜!!
あ〜〜ん


ひえぇっ
私、モモカちゃんに味あわれてる
グニュル…
よだれでぐっしょりわ、わたしって
お、おいしいのかな…
クチュ…


ダメー!!
グニュ
グニー
ホントに
食べれれちゃう!!
あ……
だ、だんだん
奥の方に……
ズル…
ズル…
うう〜ん
ゴッ
クン
あ
わぁ〜
ニュル…
べちゃ

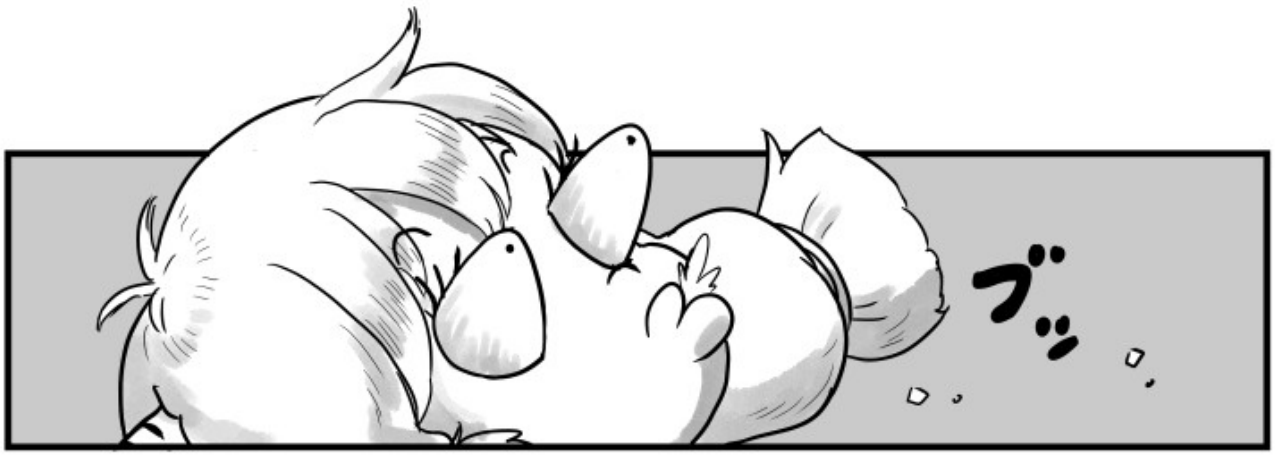

ひえぇっ、とうとう
モモカちゃんのおなかの中に
入っちゃった
ザー
ザ
ドクン
心臓の音が凄い
ザーザーっていうのは
血が流れる音かな？
ドクン
ザ

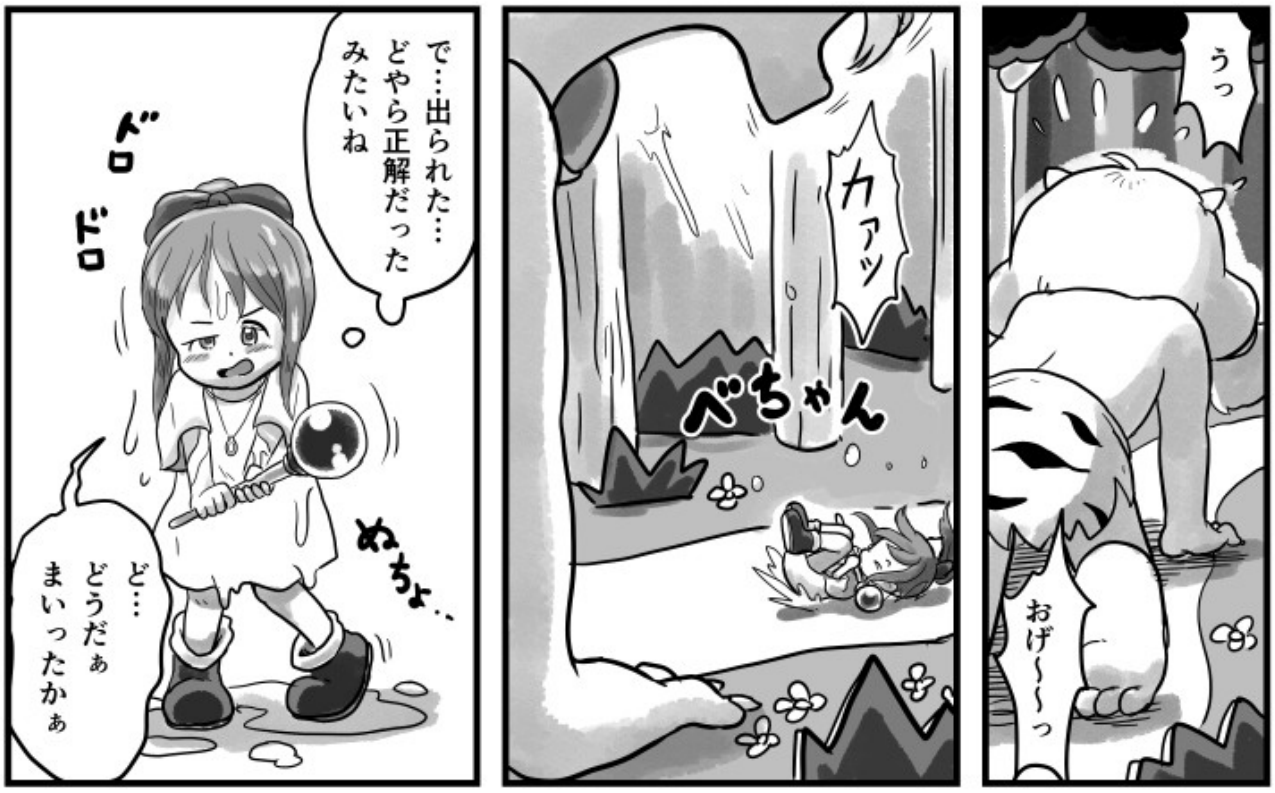

あ、でもこれって
似たような昔ばなしを
読んだことある
鬼に食べられた主人公が
おなかの中から鬼を
攻撃して退治するん
だよね

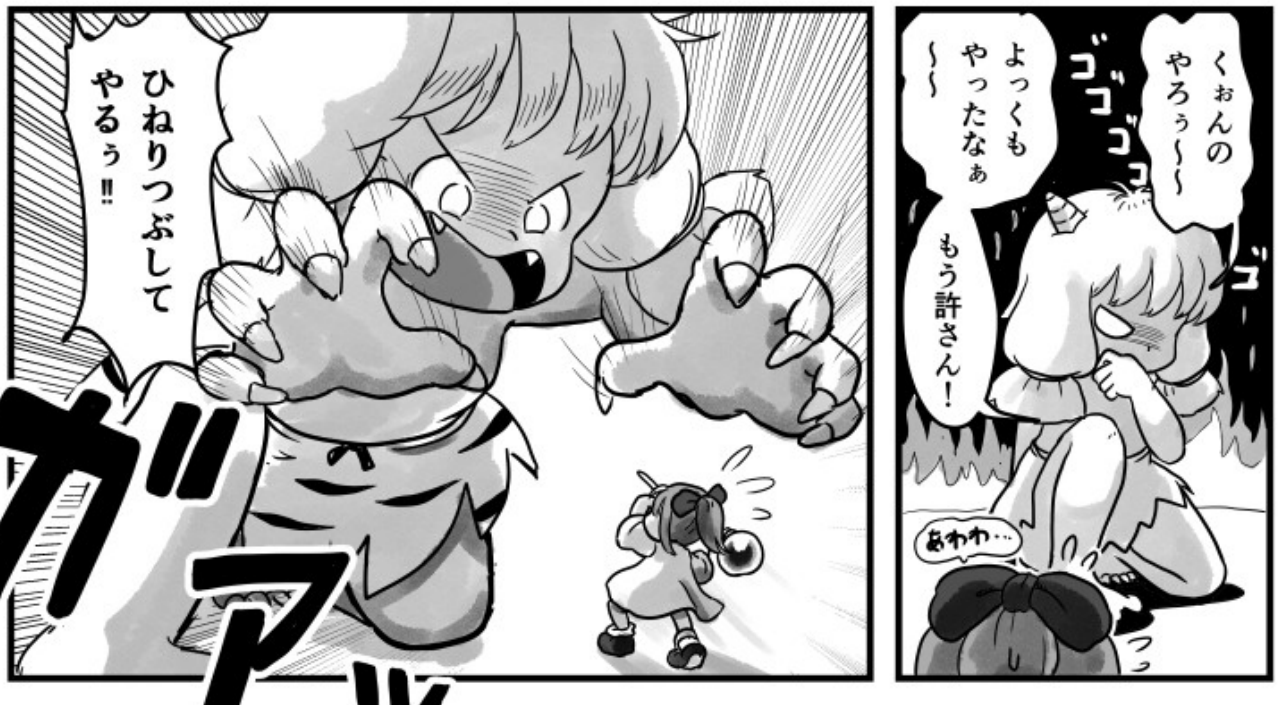

"攻撃魔法"は
私も使えるけど…
力の精霊
よ…
我に力を
…
ポウ…
い、いいのかな…


このまま○こに
なるよりまし！
ズーン
せーのっ！


パワークラッシュ
怪力強打
ズドーン


ブッ


うっ
おげ〜〜っ
カァッ
べちゃん
で…出られた…
どやら正解だった
みたいね
ドロ
ドロ
ぬちょ…
ど…
どうだぁ
まいったかぁ


くぉんの
やろぅ〜〜
ゴゴゴゴ
よっくも
やったなぁ
〜〜
もう許さん！
あわわ…
ひねりつぶして
やるぅ!!
ガアッ


ウォー
ゴゴゴ
キャー
ドカッ
バキッ
ウワー
ガンガン


どーーーん
ピーヨ
ピーヨ
あわっ
あわわ
ごっ、
ごめんなさい〜


やっぱりそう
ここは本の中で
起こることは全部
「物語」
はいはーい
本当の危険は
無いように
作られてるんだわ


くそ〜〜
確かに私の負けだ
まだ終わらないんだ…
今のままじゃ、
お前には勝てない


「今の大きさ」の
私ならなぁ！
カッ


忍法
〝豆分身の術〟〜!!
バッ
に、忍者
だったの
か〜いっ
ビシッ


えっ!?
ぐぐ
ぐるぐる
ええっ!?
カーン
テン
ン
え〜〜?
ボウン
ワーー!!
どーん
いぇーい
やったー!!
巨人をつかまえたぞー!


ギッ ギッ
うっ
ぜっ
全然
動けない
…
ふふっ
どうだ
逆に小さい
奴にやられる
気分は


さあみんな!!
「服の中」に
もぐりこめ~!!


袖口から
中に侵入できるぞ
もぞ…
もぞ…


スカートの裾から
も入ってみよう
かっ
もぞ
もぞ
もぞ
広いから
いっぱい
入れるぞ


靴にも隙間があるぞ
ごそ ごそ…
履き口から
潜りこもう


おっぱいはまだ膨らんでないみたいです
お乳の匂いがするね
くん
くん
くん
くん
キャーやだ!!


な…なにをするの…?
もぞ
もぞ
もぞ…


くんくん…脇の下はちょっとすっぱいにおいがします
くん
くん
くん
えっ!?ちょ、ちょっと!　嗅がないでよ!!


すんすん
足の先はちょっと臭いです
くん
素足で靴をはいてるね
くん
いやらん

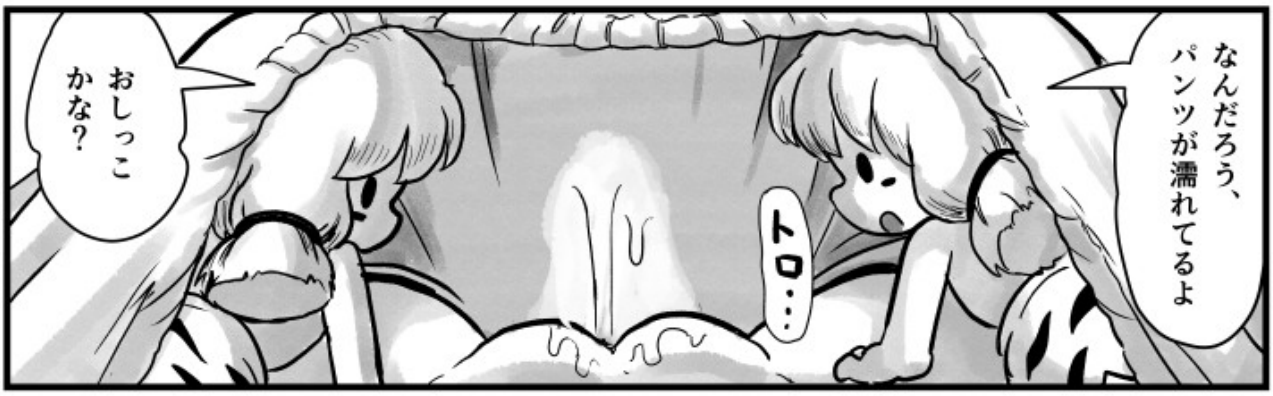

ふふっどうだ!これぞ"くんくん地獄"の術!
うう…
恥ずかしかろう辛かろう〜


おへその中はちょっと汚れてます
キャアー
くんかくんか…
パンツはちょっとおしっこ臭いです


うぅ…
ぐすっ…
やめ…
やめてよぉ…
ぐすん
ぐす…
ひっ
あーあ、
泣いちゃった
でも大丈夫
ヴィーン
うひっ!?
こしょ
こしょ
こしょ
こしょ
ビクッ
すぐに
笑顔になるから
こしょ
こしょ
こしょ
うっふふふ…
やっやめてっ
本当に
やめていいの
……？
ボン
〝こういうの〟が
好きなんじゃ
ないの？
え……
なんでそのことを……


コチョコチョ…
うひっ
コチョコチョ…
コチョ…
くくくっ
やだっ
コチョコチョ
ん
ひぃ?!
ビクッ
ニャ…
それみんな
くすぐって笑わせろー！
くく…っ
うふふふっ
や、やだぁ
うくくくひひひっ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
ひっ
あはっ
あはは
こしょこしょこしょ…
こちょこちょ
ごじょごじょ～
あ、はは
？
23


うっひゃひゃひゃ
ぎゃはは
足の指の間って特に敏感なんだよね
念入りにくすぐってあげよう
こちょ こちょ
指のつけ根こちょこちょ
土踏まずカリカリ〜
ビクッ
足の甲も結構くすぐったいよね
すごいビクビクする
こちょ
ビクッ
ふとももは長くてくすぐりがいがあるな
どこが一番くすぐったいか皆で見つけよう！
あはは、あはっ、
んっ
脚の付け根もくすぐったいんだよね〜
ジワ…


なんだろう、
パンツが濡れてるよ
トロ…
おしっこかな？


中に入って
もっとよく
見てみよう
もそもそ…


こちょこちょ
すごくヌルヌルしてる
くすぐったら
もっとおしっこ
出るかな


ああ…
わたし、今
体中を
くすぐられてる
あはは
はっ
あは


恥ずかしくて
くすぐったくて
どうにか
なっちゃいそう
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ


モモカちゃん…
モモカちゃんは
気づいてたのかな
だからこんなお話を、
私のために
書いてくれたのかな


あはは
ひいっはは
はは


みんな休憩――！
はー
はー


ナツミちゃんに
選ばせて
あげる
はー
はー


〝まいった〟と
言えば、すぐに
本の世界から
出してあげる
でも
〝お願い〟したら、
続けてくすぐって
あげる
どう？


はー!!
すぅ～っ


おっ
ギリ…


お願いします
……!!
もっと…
フーッ
わ…わたしを
フーッ
めちゃくちゃに
くすぐって
ください…!!


うん！
まかせて
その願い、
叶えてあげる
そこまでは
聞いてない


ふう
モコ
モコ
モコ
わーっ
手に乗って
グオォ…
グァバ
さあ、
みて…
グオォォ…
ズズ…

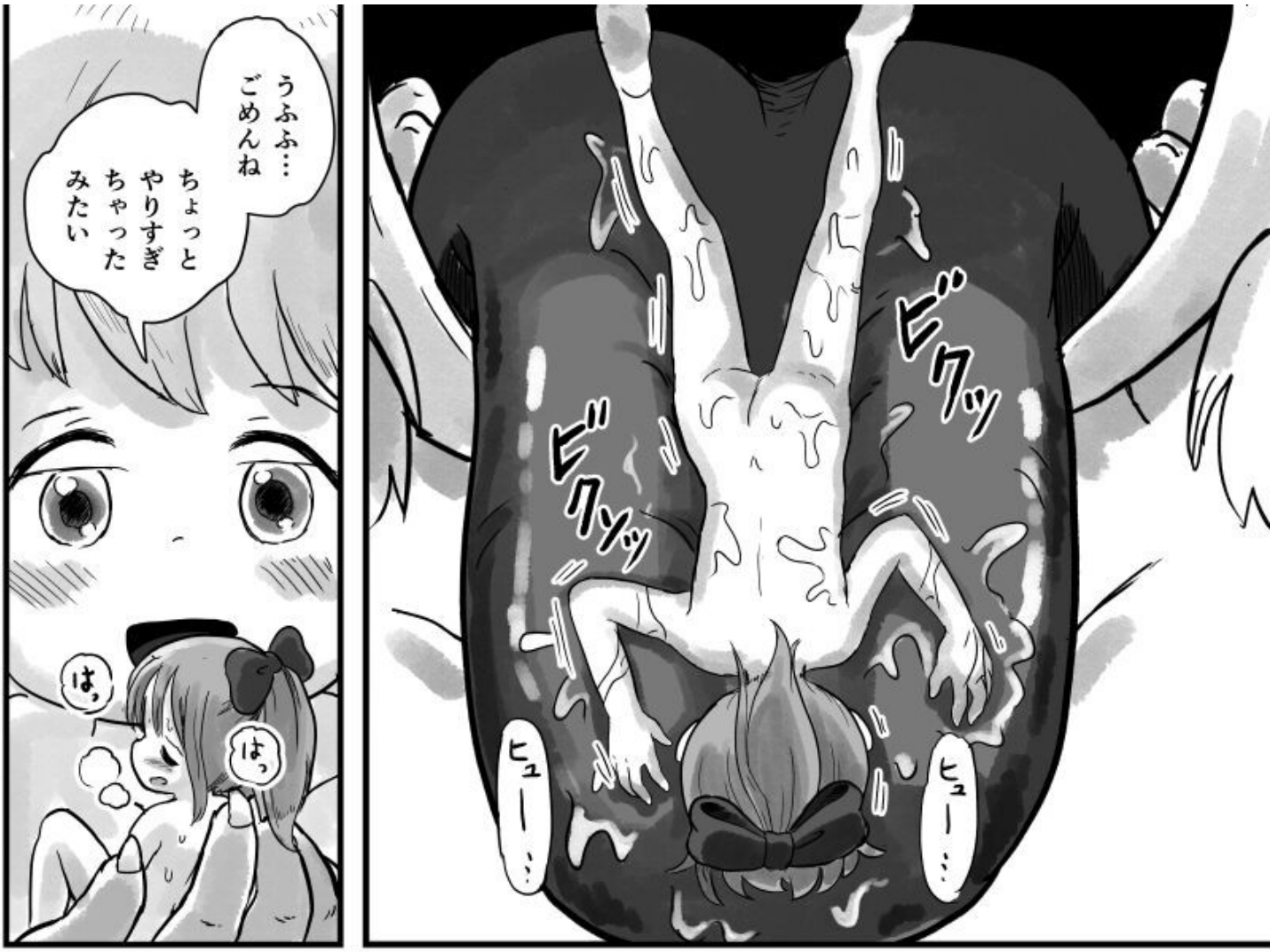

ワキ
私の〝口の中〟に自分で入れば
ワキ
ワキ
その沢山の手が、ナツミちゃんをい〜っっぱいくすぐってくれるよ
ワキ
ワキ
は〜
は〜!!
は〜
は〜
ぬぎぬぎ
ヒタ…
ヒタ…
あ…
ガシッ
ガシッ
こちょこちょ
こちょこちょ
くっひひひ…
ビクッ


あはっ
あはははは！
ビクッ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
ビクッ
あッッ♥
あぁ♥ろッッ♥
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
こちょ

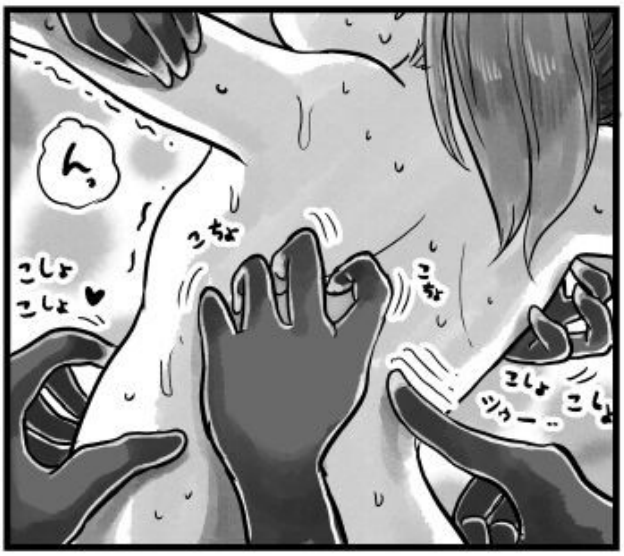

あっ!?
やだやだ
パンツ脱がさないで!
ぬぎ
ぬぎ
いやー!!
あはは
ちゅる…
やぁ
ははは!!
ずる…
ぢゅる…
こちょ
こちょ
こちょ
くりくり
くりくり
こちょこちょ
こちょ…
こちょこちょ
こちょこちょ
こちょ
もみもみ
もみもみ


モモカちゃんのお口の中…
すごくすごくくすぐったい
ちゅ
ちゅ
あはは
あはは
ああ…
こちょこちょこちょこちょこちょ
閉じられない脇の下をそんなにまさぐらないで！
やめて!!
おっぱいくすぐったい!!
こちょこちょこちょこちょこちょ
あはは
気がヘンになりそう
やだぁそんなとこくすぐらないで！
なめなめ
恥ずかしくて死んじゃう

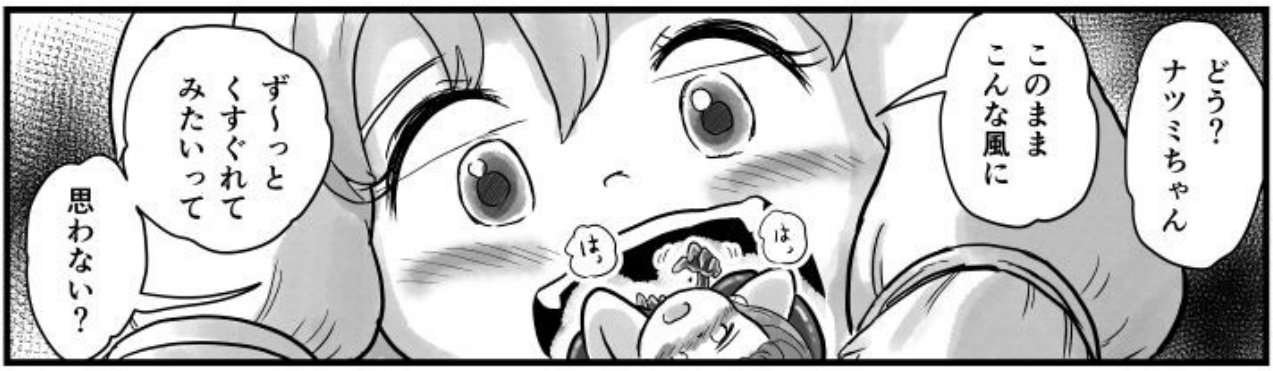

ふぎっ!!
ビクッ
おぁぁ♡
それだめ!!♡
もみもみもみ♡
くりくりくりくり
ビクッ
おかしく♡なる♡!!
くにくにくにくに♡
意識が……
ダメ…もう……
あッ
あはは
ブンブン
やめッ
ぎゃはは
あはッ
はッ…
カヒュッ
カッ…ハッ…
あぁ…
はぁ…


うふふ…
ごめんね
ちょっと
やりすぎ
ちゃった
みたい
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ヒュー…
ヒュー…


あっ…
やっ…
べろん…
大丈夫…
こんどは
ワキ
ワキ
ワキ
う…
やさしく
くすぐって
あげるから…
やだぁ
ヒッ
ビクッ
こしょ…


ん…
こしょ
こしょ
こちょ
こちょ
こしょ
こしょ
ツゥー…


あっ
はぅ
ゾクン…
ツゥ…
こしょ こしょ


どう？
ナツミちゃん
このまま
こんな風に
はっ
はっ
ず～っと
くすぐれて
みたいって
思わない？

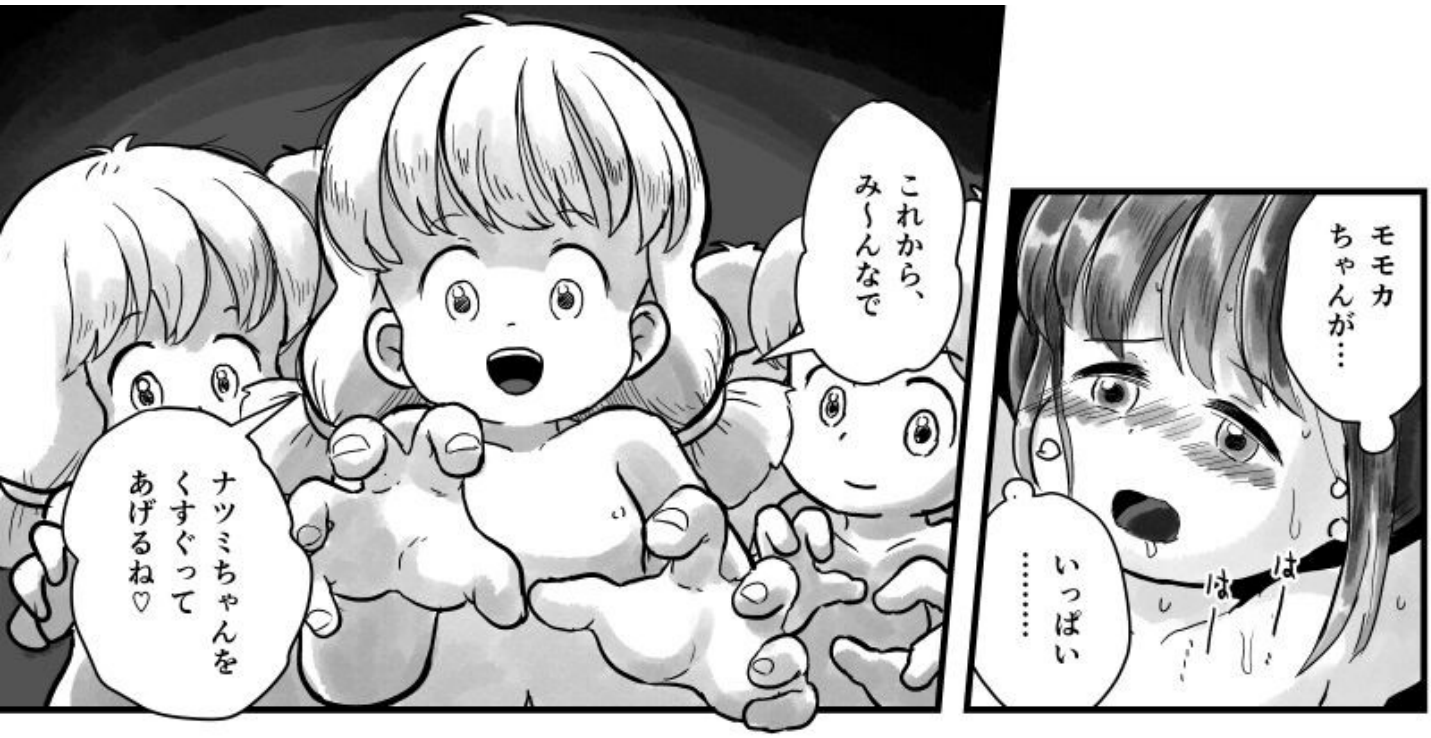

うん…
お願い、
モモカちゃん
はぃ♥
こしょ
こしょ
こしょ
私を…
飲み込んで
……


このまま
ナツミちゃんを
飲み込んでぇ
トン
トン
私の
お腹の中で
くすぐられ
続けるの


うん
ナツミちゃんを
食べて
あげる♡


ちゅる
ちゅる


ヌル…
ズチュ…
あっ♥
はぁぁ♥
こしょこしょ
ニュル…
ズチュ…
モコ
モコ
ようこそ
ナツミちゃん♡


モモカちゃんが…
いっぱい……
はぁ…はぁ…
これから、み〜んなで
ナツミちゃんをくすぐってあげるね♡


ピチャ
ピチャ


恥ずかしいよぉ
い、いやっ


ガバッ
あっ


あっ
あはぁ♡
ビクンッ
こちょこちょこちょこちょこちょこちょこちょ
ジュル…


あっ
やだぁ…
ピチャ…
チュ…


レロ…
スー…
ビクッ
こちょこちょこちょこちょこちょ
こしょこしょこしょこしょこしょ
きゃはッ!?
ビクンッ
カリカリカリカリ
ダメッ
くすぐったいッ
こちょこちょこちょこちょ
やだ…そんなとこばっかり……
ぞくん…
こしょこしょ
ひっ
きたないよぉ…
ぞくん…
レロレロ
レロレロ
レロレロ
レロレロ
あはッ
あぎゃ
コチョコチョコチョコチョコチョコチョコチョコチョ
もっと笑って
もっともっと
あはは!!
くすぐったくしてあげる♡
おかしくなっちゃうッ!!


こちょこちょこちょ
もっと笑って
ナツミちゃんの笑顔いっぱい見せて
モモカちゃん
私の夢を叶えてくれてありがとう
とってもくすぐったくって
きゅん
あはは笑って
笑って
気持ちよくなって
こちょこちょこちょ
気持ち……いい…？
あはははは
きもちいいよ


もう…
なっちゃう……
レロレロ
レロレロ♥
一番、きもちいいの
来ちゃう…!!
ビクン
あっ
あっ
あ
あ
ビクン

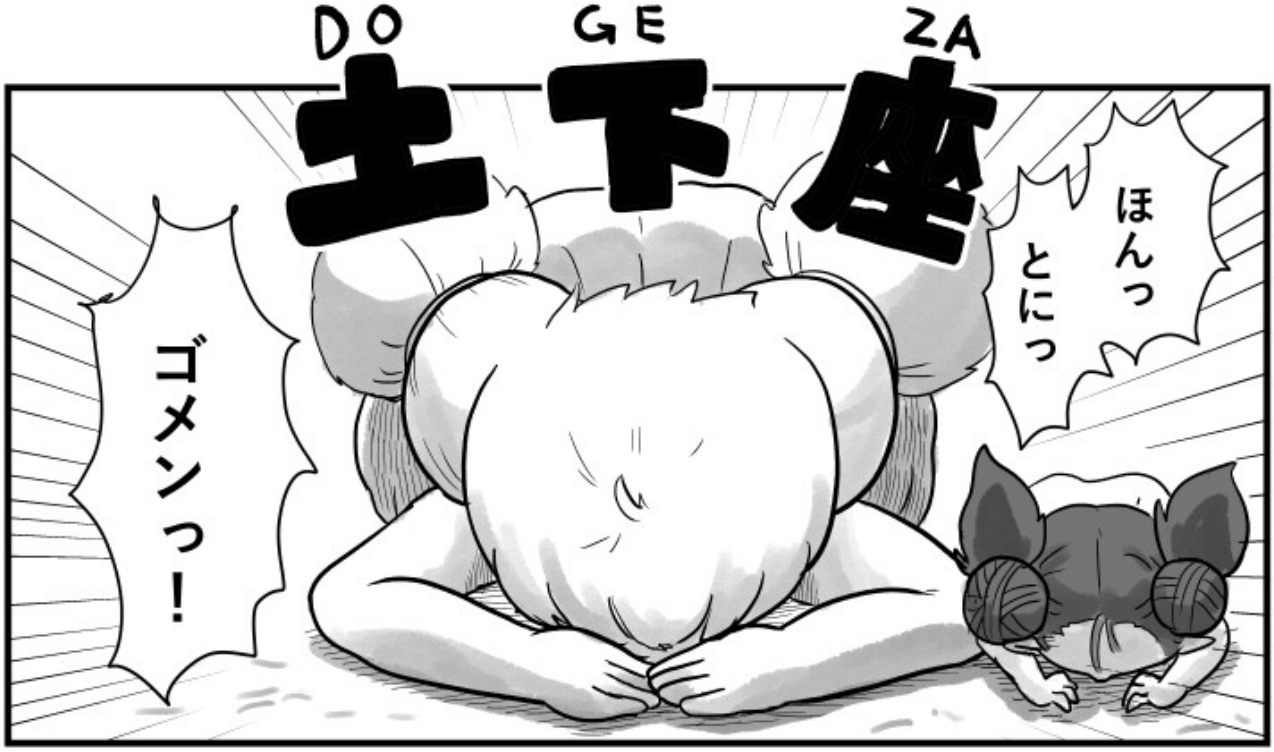

うふふ…
はーい
はーい
どう？
とっても
気持ちが
よかったでしょ？
ありがと
モモカちゃん
はーい♡
すごく
気持ちが
よかった…


うふふ
うひへへッ
さっきよりも
体が敏感になって
ちょっ
ホントに…
もっとくすぐったく
感じるでしょ？
コチョ
コチョ
コチョ


でもまだ
終りじゃないよ
そうそう
え!!?
ちょっ!!?
コチョ
コチョ
これからが
本当の
お楽しみ
ビクッ

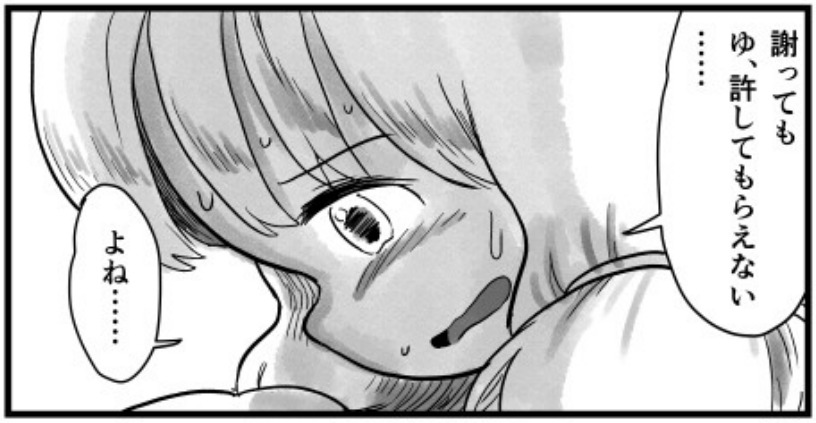

これからここで
ず～～っと
くすぐってあげる
永遠に


ぎゃ
ははは!!
コチョ
やめてぇ
あはあはは
コチョ
コチョ
コチョ
あはは
ははは
ﾅｰ
ﾅｰ


DO GE ZA
土下座
ほんっ
とにっ
ゴメンっ！

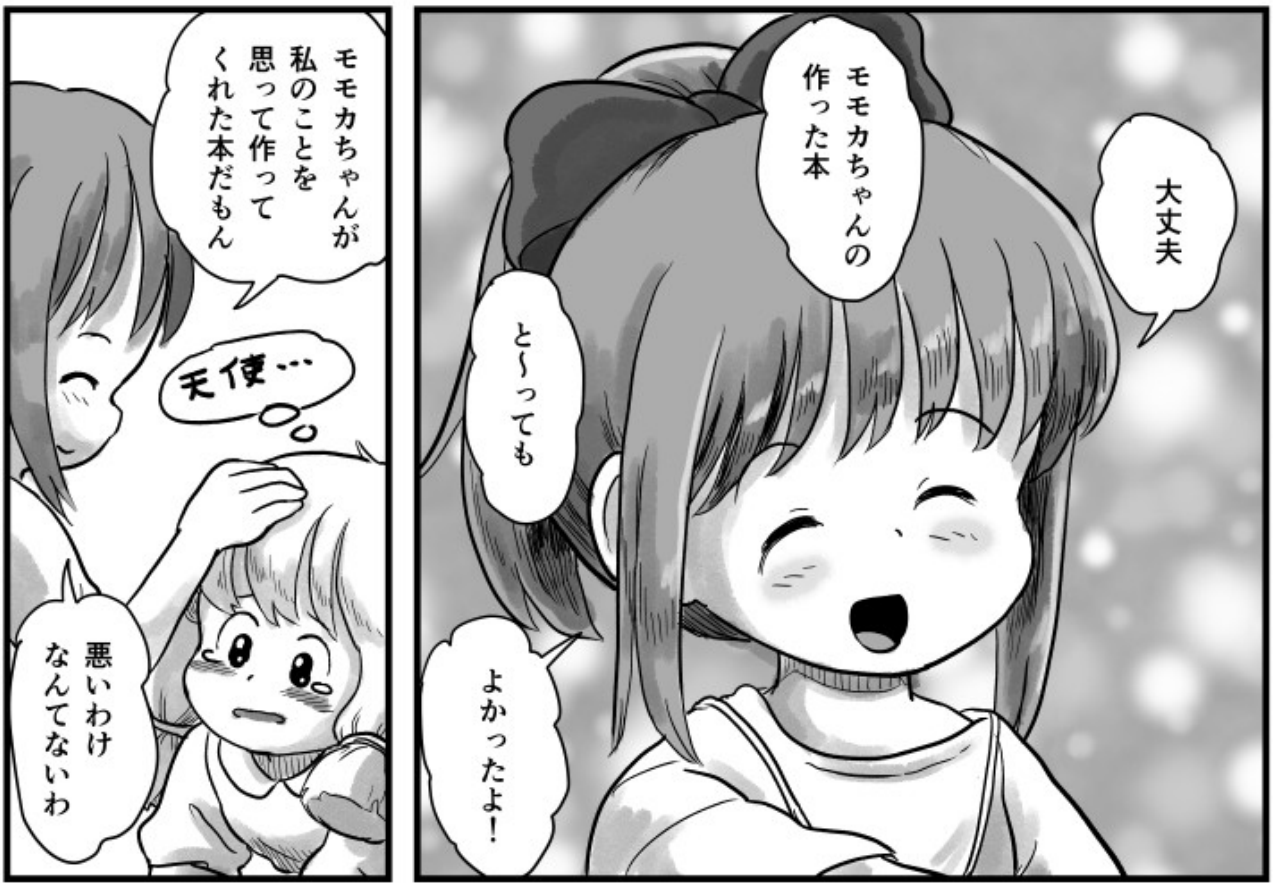

私、夜中まで
徹夜で本を
書いてたら
途中で
な、なんか
ハイになっ
ちゃって…
ナツミちゃんを
とんでもない目に
遭わせちゃった
……
出られた


手ぬるいわモモカ！
そんなんじゃ彼女は
満足しないわ！
はー
はー
私達が受けた
苦しみはこんなもの
じゃなかったハズよ！
もっと
てっていてきに！


謝っても
ゆ、許してもらえない
……
よね……

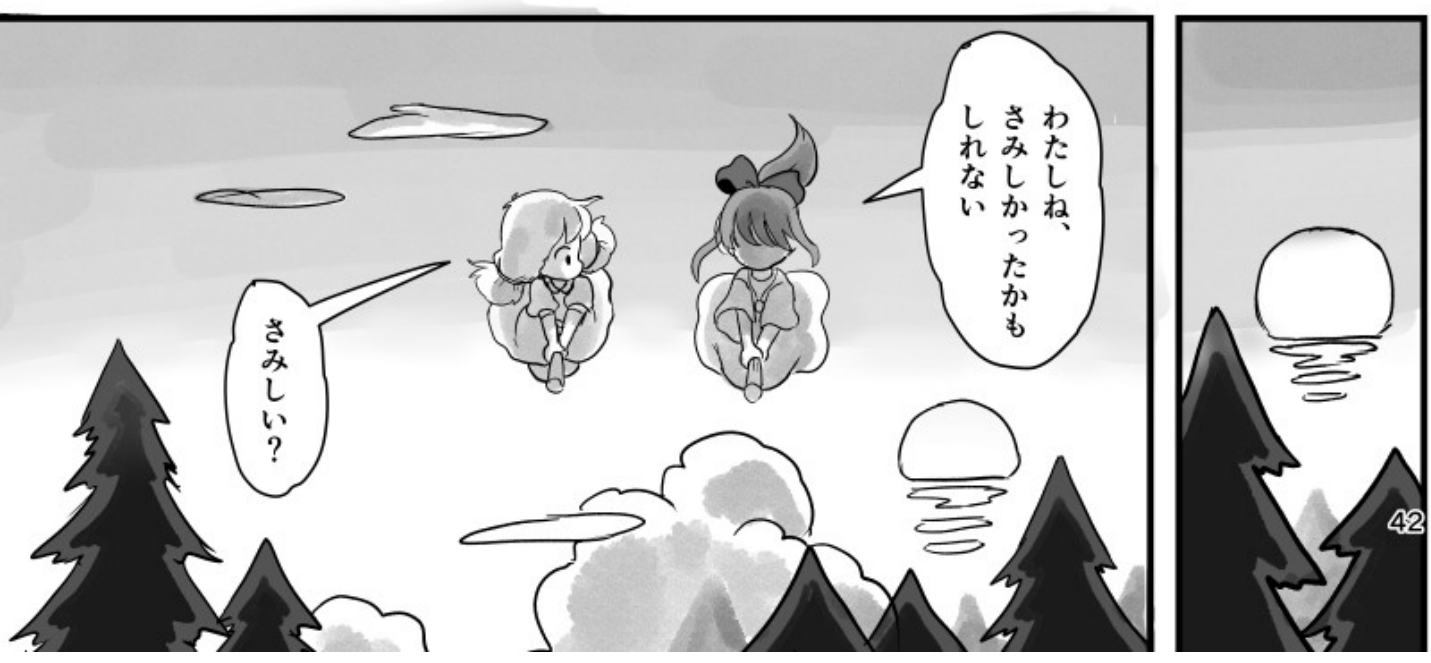


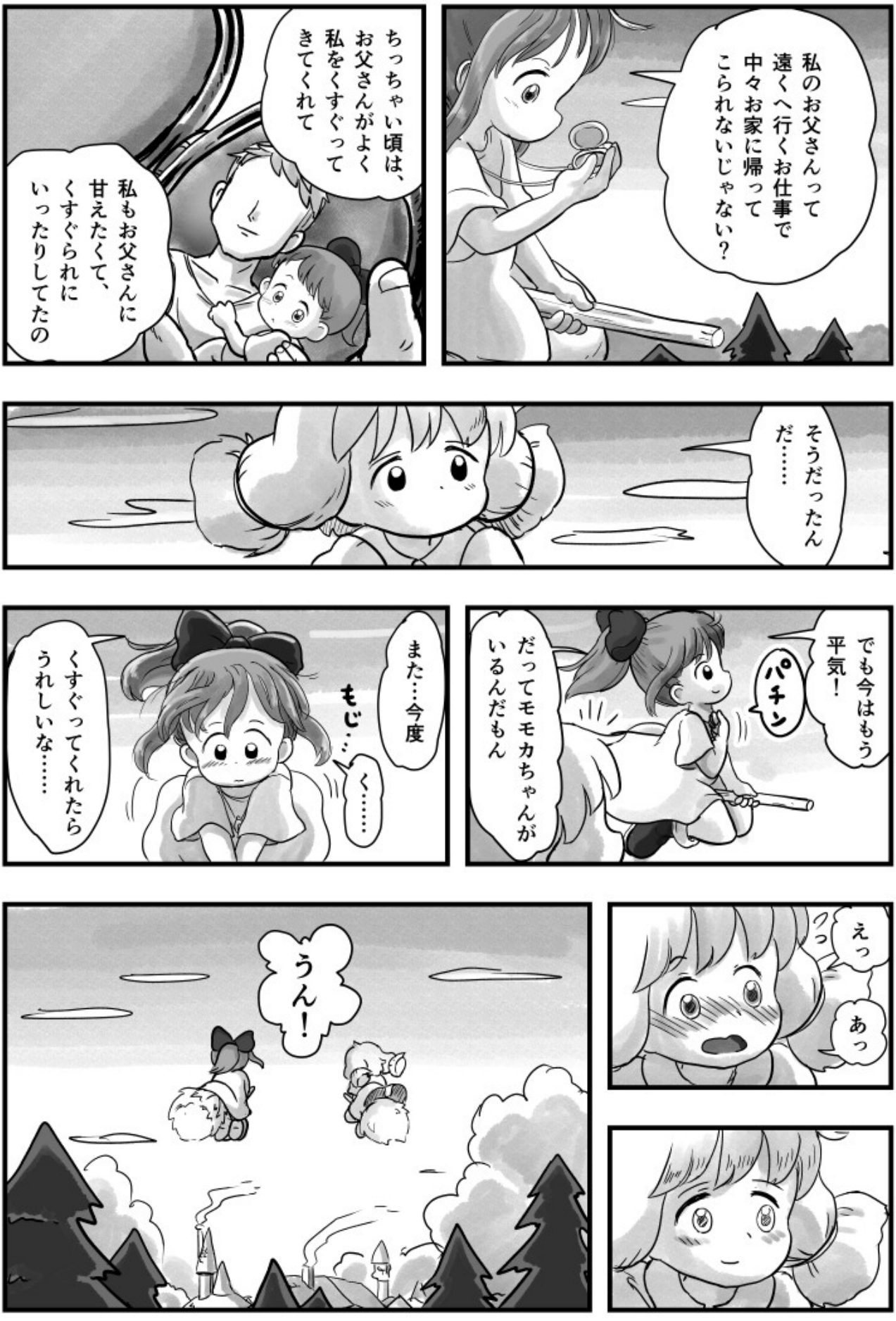

ス、
ビクン


大丈夫
モモカちゃんの作った本
と〜っても
よかったよ！
モモカちゃんが私のことを思って作ってくれた本だもん
天使…
悪いわけなんてないわ


んー、でも私がくすぐられるの好きなのを知ってて隠してたのはちょっとショックだったかなー
う


ごめんなさぃ
いいの！
私も秘密にしてたから、おあいこ！


わたしね、さみしかったかもしれない
さみしい？


私のお父さんって
遠くへ行くお仕事で
中々お家に帰って
こられないじゃない？
ちっちゃい頃は、
お父さんがよく
私をくすぐって
きてくれて
私もお父さんに
甘えたくて、
くすぐられに
いったりしてたの
そうだったんだ……
でも今はもう
平気！
パチン
だってモモカちゃんが
いるんだもん
また…今度
もじ…
く……
くすぐってくれたら
うれしいな……
えっ
あっ
うん！